

「職業実践専門課程」の実態等に関する調査研究

中間報告資料

2015年12月11日

 株式会社三菱総合研究所

1 調査概要

■調査件名：

「職業実践専門課程の実態等に関する調査研究」アンケート調査

■調査方法：

ウェブアンケート調査（要望に応じ、紙媒体で実施）

■調査対象、及び回収数／配布数（回収率）（2015年12月7日時点）：

- 学科 2,275件／5,280件（43.1%）（認定を受けていない学科を含む）
- 在学生 8,531件／21,120件（40.4%）
- 連携企業 974件／2,042件（47.7%）
- 卒業生 784件／2,042件（38.4%）

■調査項目（学科調査）：

- 基本事項（学科区分、生徒数、教職員数、志願者数、就職率、中退率等）
- 認定要件に係る事項（企業と連携した教育課程編成、実習・演習、教員研修、学校評価、情報公開）それぞれに関する、実施状況、効果、課題等
- 全般的な効果や行政等への要望等

※本報告では、11月25日回収時点の学科調査（回答2,069件）のみを対象

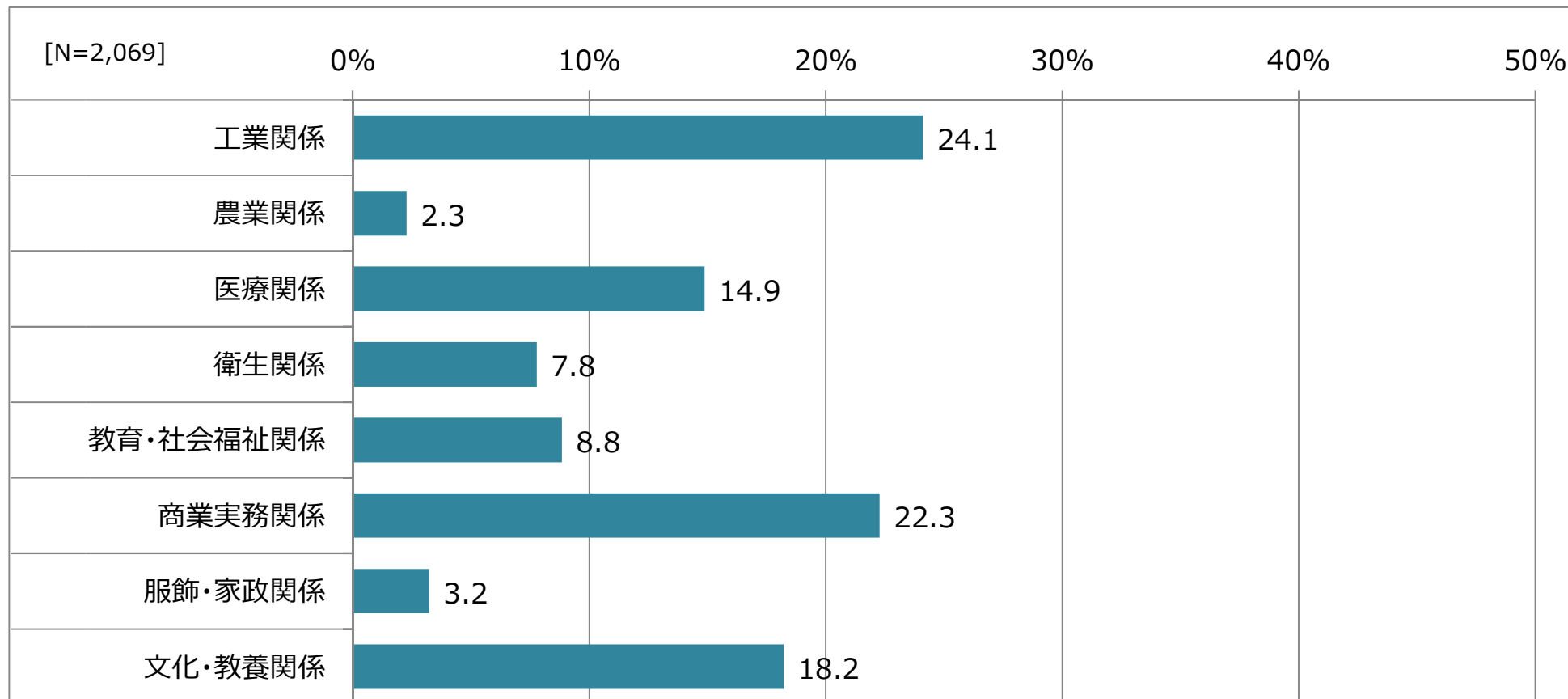
※在学生調査は、各学科4名に依頼。連携企業、卒業生調査は、認定学科（2,042学科）のみを対象に、各1企業、卒業生に依頼

※現在、回収督促中（12/11締切）

2 概況 ①回答学科属性（学科区分）

■工業関係（24.1%）、商業実務関係（22.3%）、文化・教養関係（18.2%）、医療関係（14.9%）の上位4区分で、約8割を占める

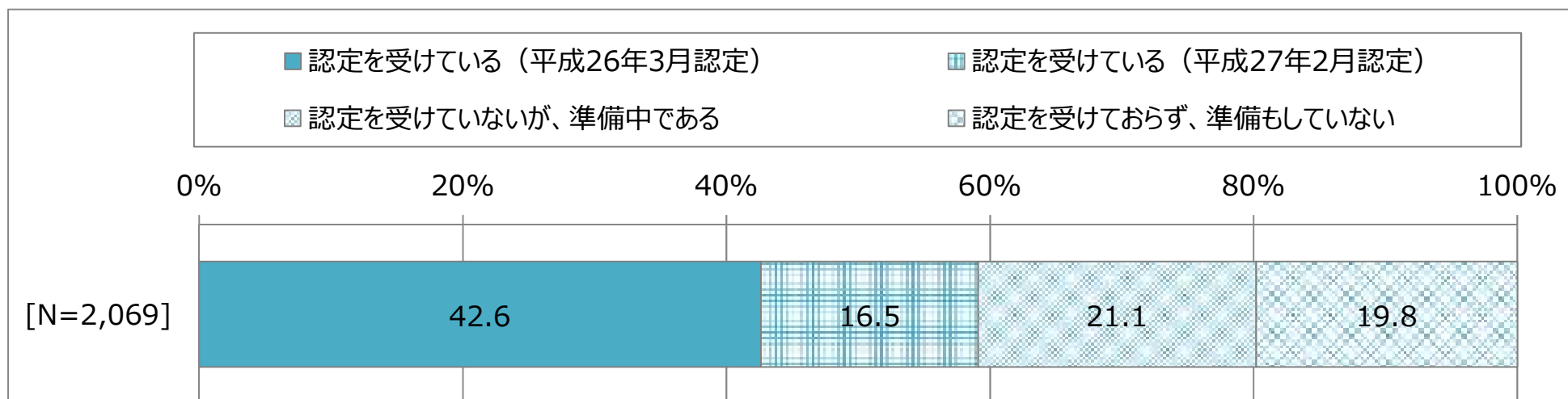
図表 学科区分



2 概況 ②認定の有無、及び時期

- 回答学科の約6割が認定済み
- 認定を受けていない学科では、「準備中」と「準備もしていない」がほぼ同割合（約2割）

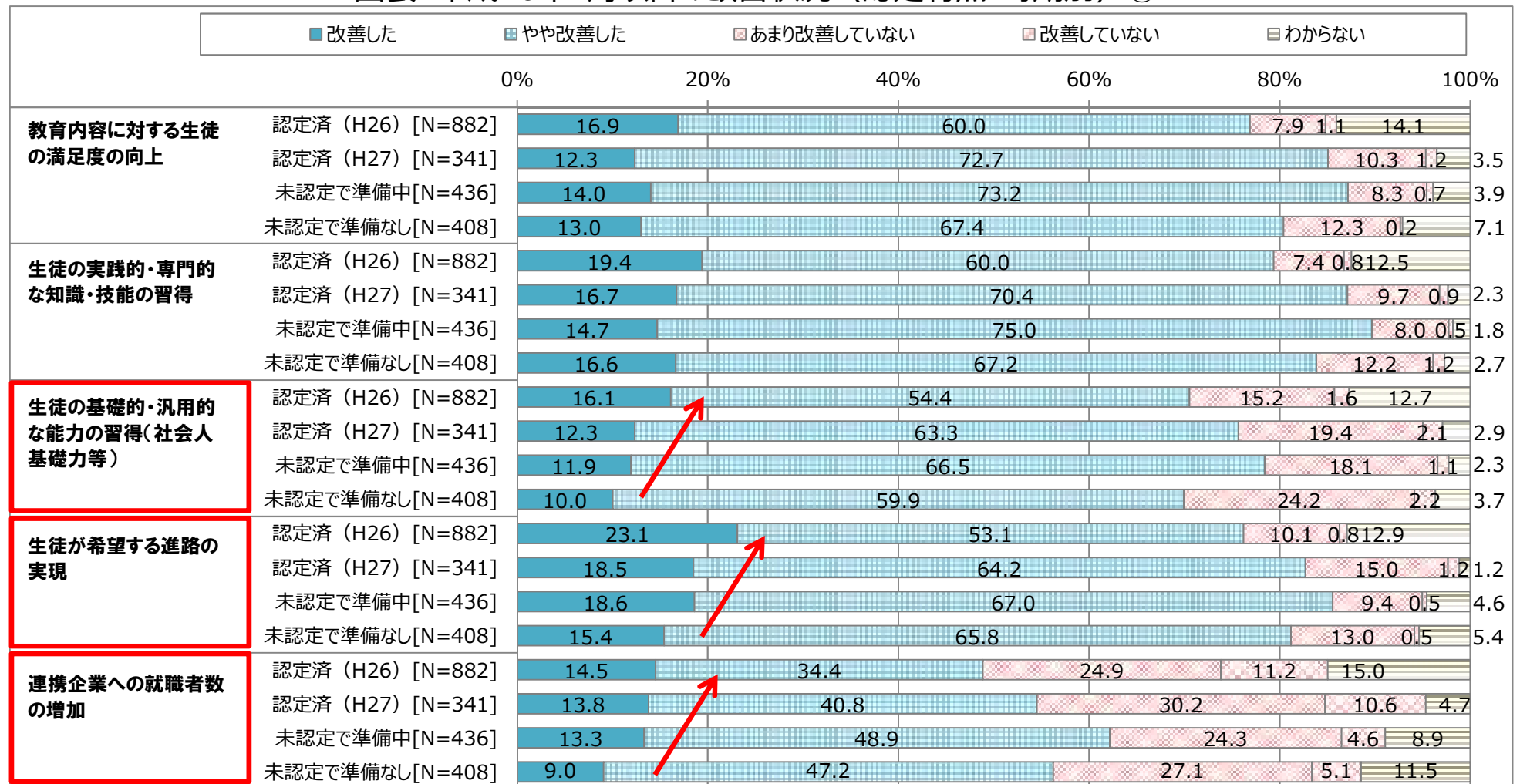
図表 認定有無、及び時期



2 概況 ③認定を受けた効果（1）

■以下の項目で「改善した」に着目すると、認定を受けている学科ほど、かつ認定から時間が経過している学科ほどおおむね回答割合が高い傾向（ただし「やや改善した」を含めると状況は異なる）

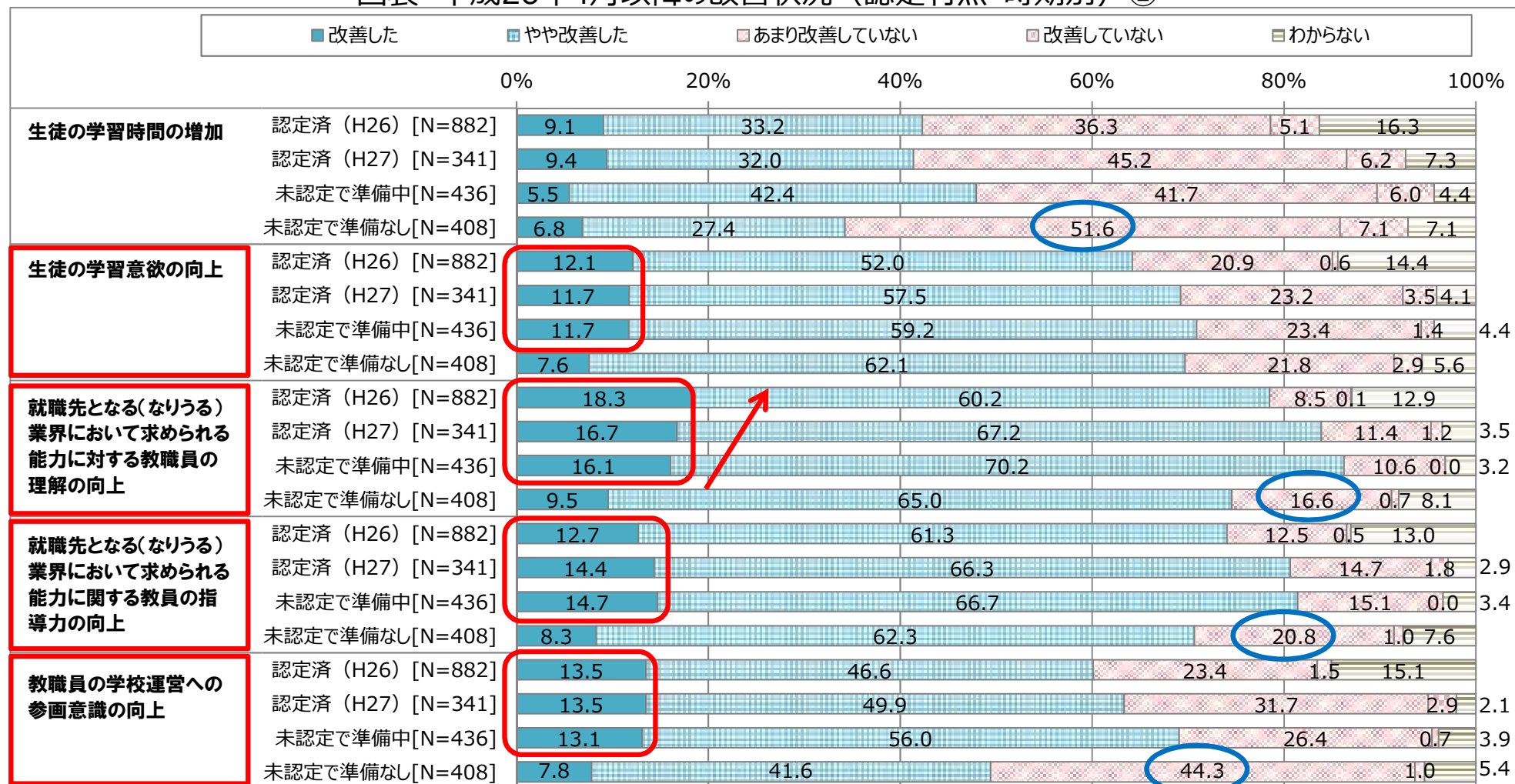
図表 平成26年4月以降の改善状況（認定有無・時期別）①



2 概況 ③認定を受けた効果（2）

■以下の項目で「改善した」に着目すると、「認定済」や「認定準備中」の学科は、「未認定で準備なし」の学科に比べ、回答割合が高い傾向（逆に後者は「あまり改善していない」の割合が高い）

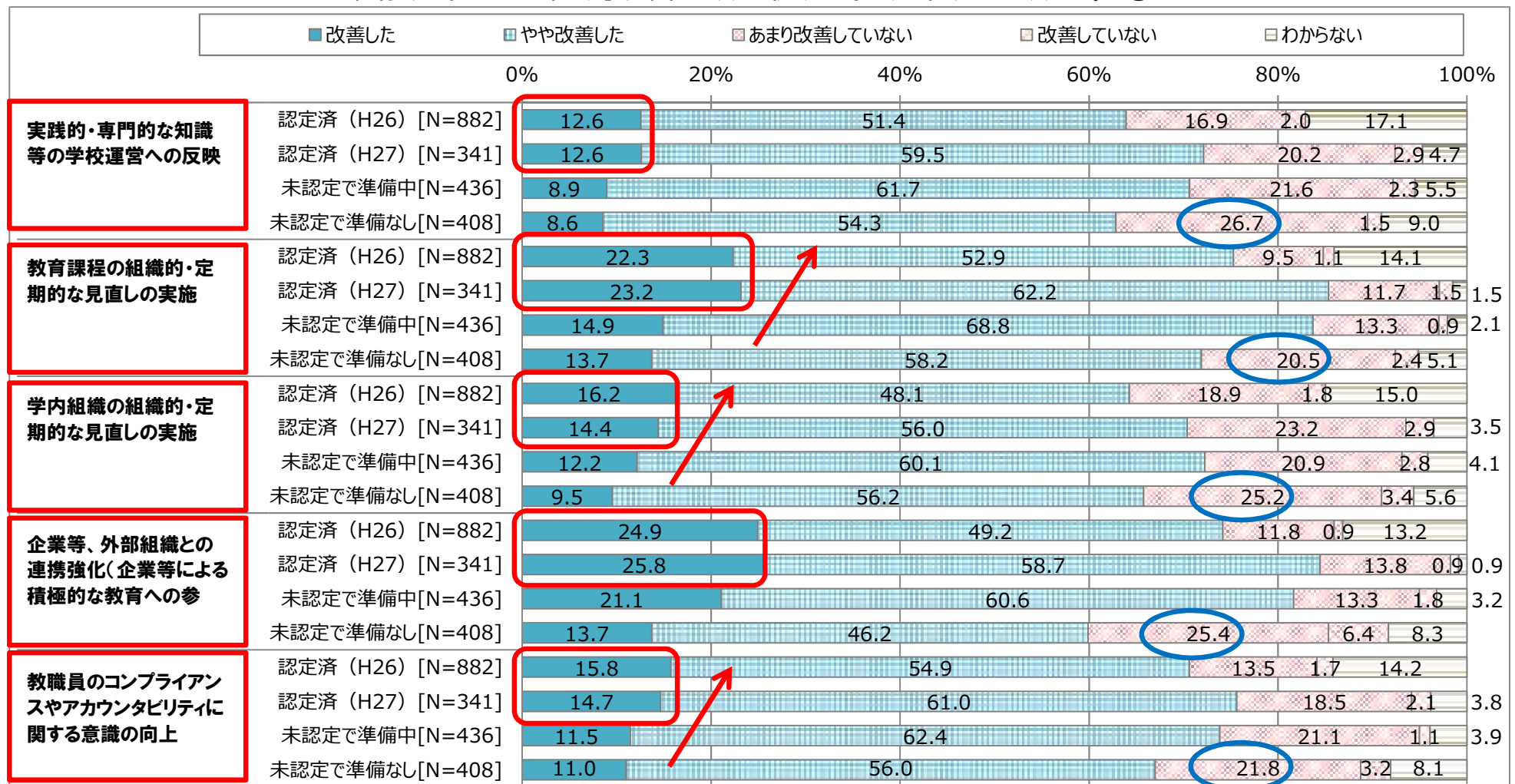
図表 平成26年4月以降の改善状況（認定有無・時期別）②



2 概況 ③ 認定を受けた効果 (3)

■以下の項目で「改善した」に着目すると、認定を受けている学科ほどおおむね回答割合が高い傾向（かつ「未認定で準備なし」の学科は、「あまり改善していない」の回答割合が高い）

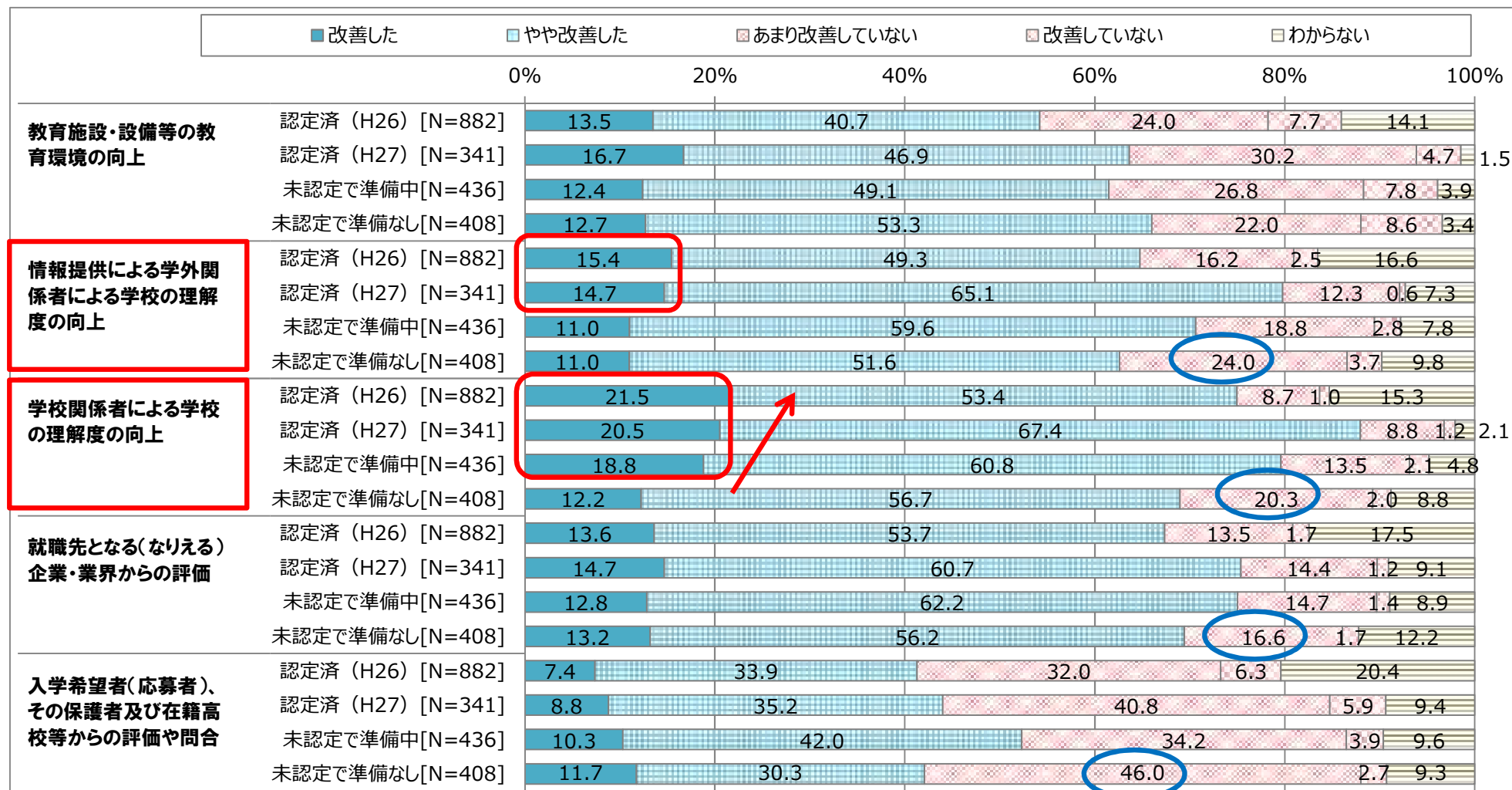
図表 平成26年4月以降の改善状況（認定有無・時期別）③



2 概況 ③認定を受けた効果 (4)

■以下の項目で「改善した」に着目すると、認定を受けているか準備中の学科ほどおおむね回答割合が高い傾向（かつ「未認定で準備なし」の学科は、「あまり改善していない」の回答割合が高い）

図表 平成26年4月以降の改善状況（認定有無・時期別）④

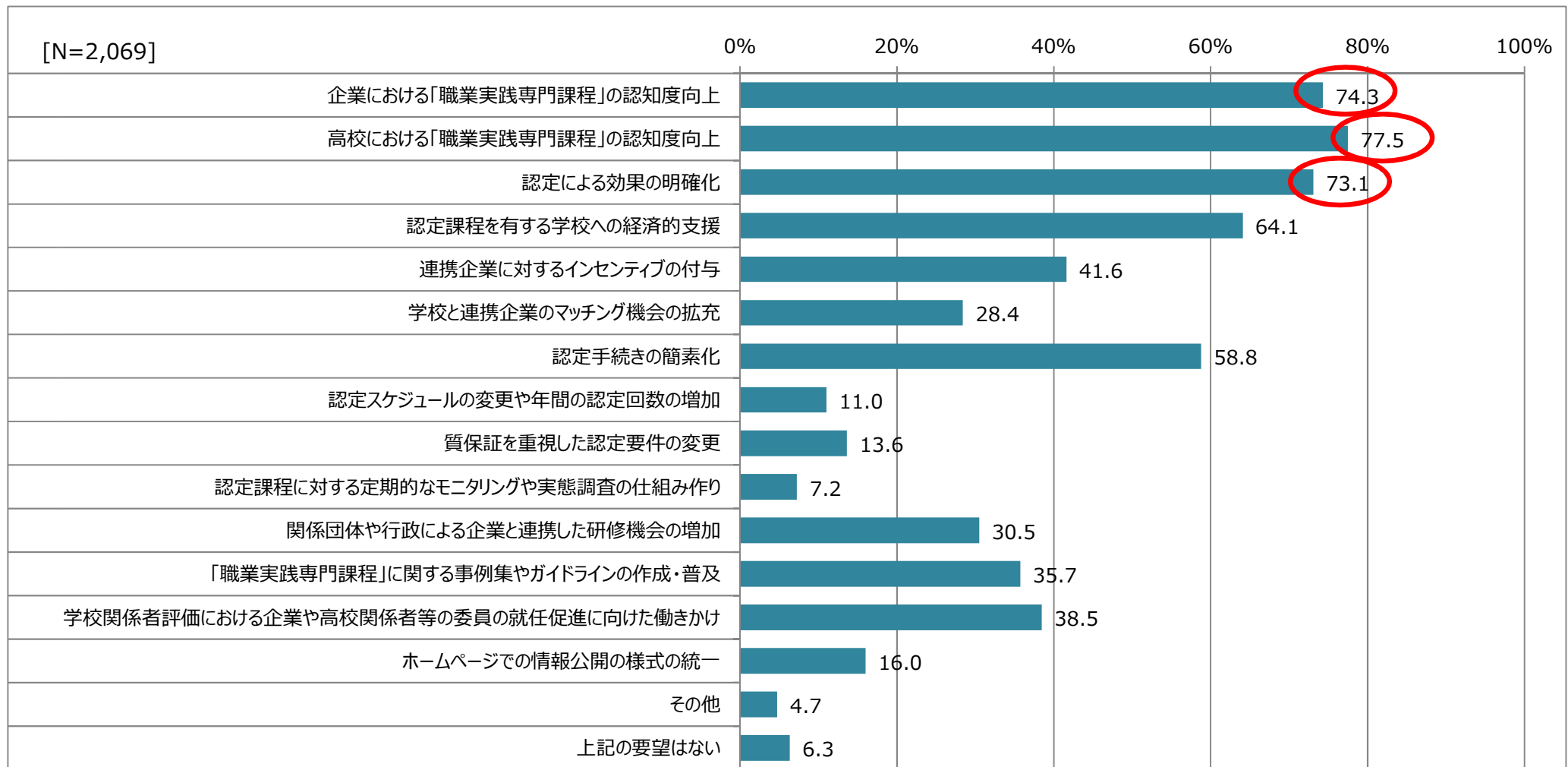


2 概況 ④ 認定取得／運営における行政等への要望

■7～8割が、「認知度向上」や「認定による効果の明確化」と回答

■次いで「経済的支援」（64.1%）、「認定手続きの簡素化」（58.8%）の順

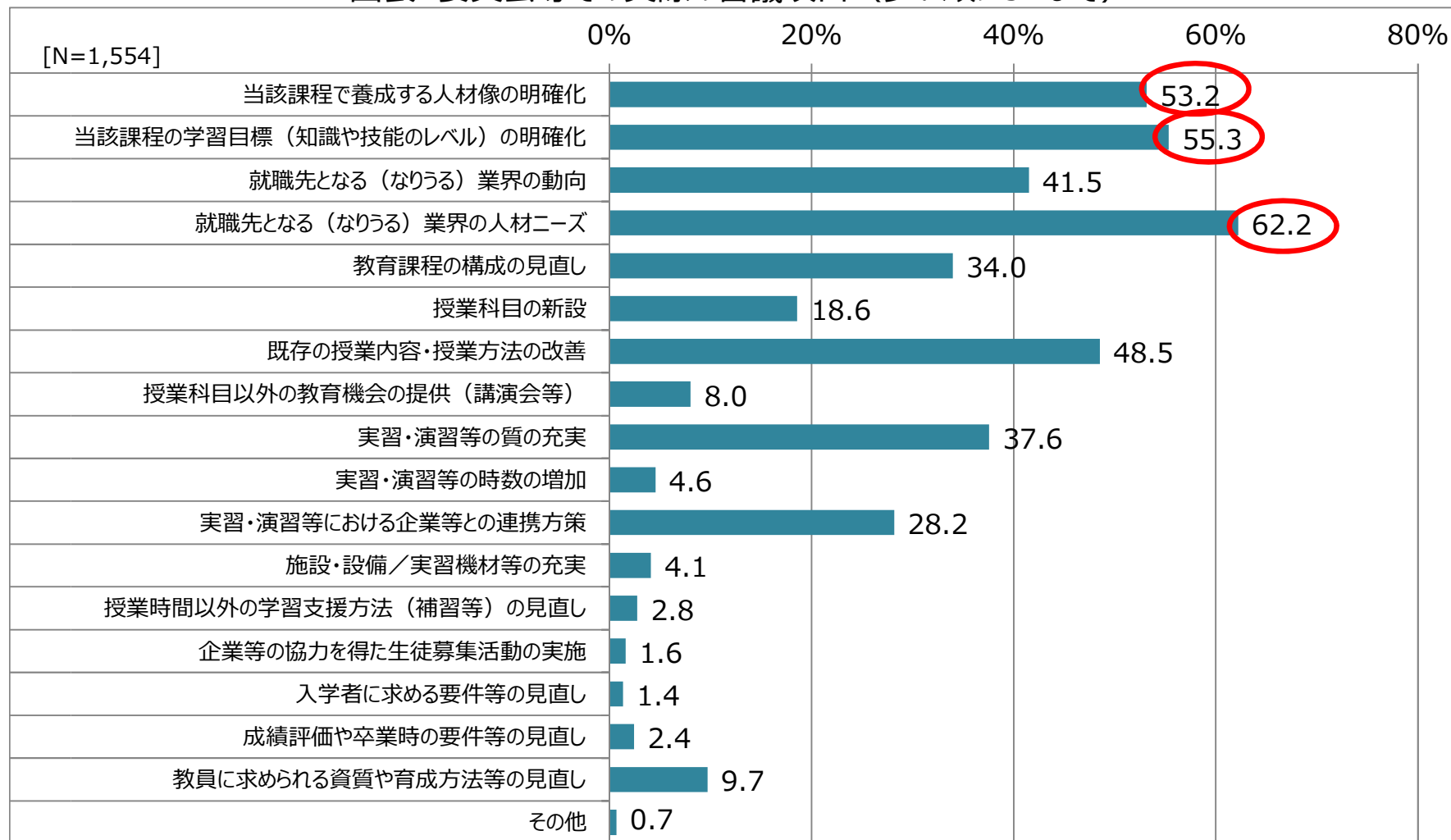
図表 認定取得または運営における行政等に対する要望



3 教育課程編成委員会 ①委員会での議論内容

■委員会等で審議にあてた時間が多いものは、「就職先となる（なりうる）業界の人材ニーズ」「人材像の明確化」「学習目標の明確化」と目標設定に係るものが上位

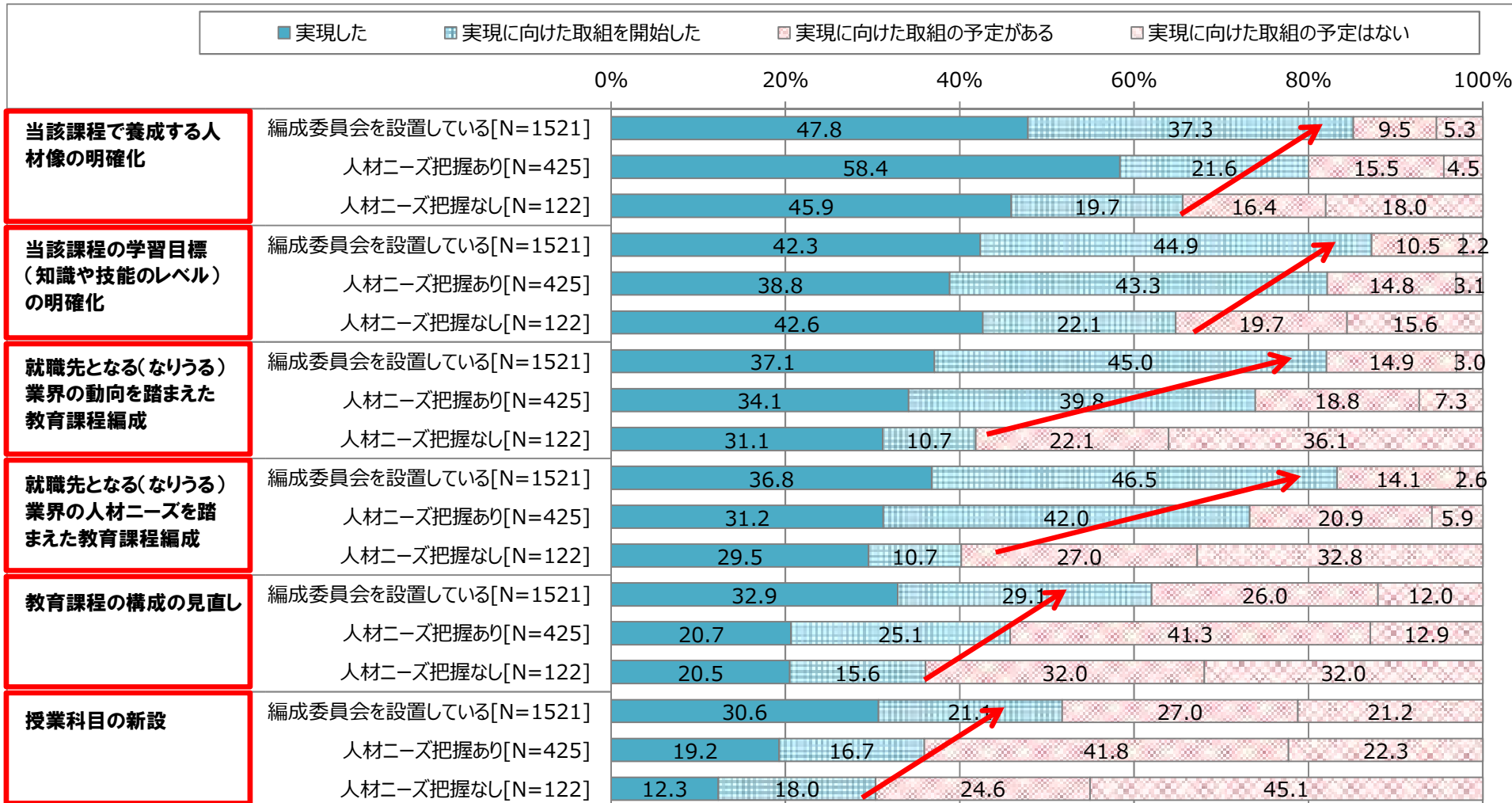
図表 委員会等での実際の審議項目（多い順に5つまで）



3 教育課程編成委員会 ②効果 (1)

■「実現した」または「実現に向けた取組を開始した」に着目すると、認定要件を満たす委員会を設置している学科ほど、おおむね回答割合が高い傾向 (ただし項目により状況は異なる)

図表 平成26年4月以降の取組状況 (教育課程編成における企業等との連携体制別) ①



● 編成委員会を設置している
⇒「①認定要件を満たす企業等が参画する教育課程編成委員会等を設置している」

● 人材ニーズ把握あり
⇒「②認定要件を満たさないが、企業等担当者が参画する委員会等を設置している」又は「③委員会は設置していないが、組織として企業の人材ニーズ等を把握している」又は「④委員会は設置していないが、個々の教職員経由で人材ニーズ等を把握している」

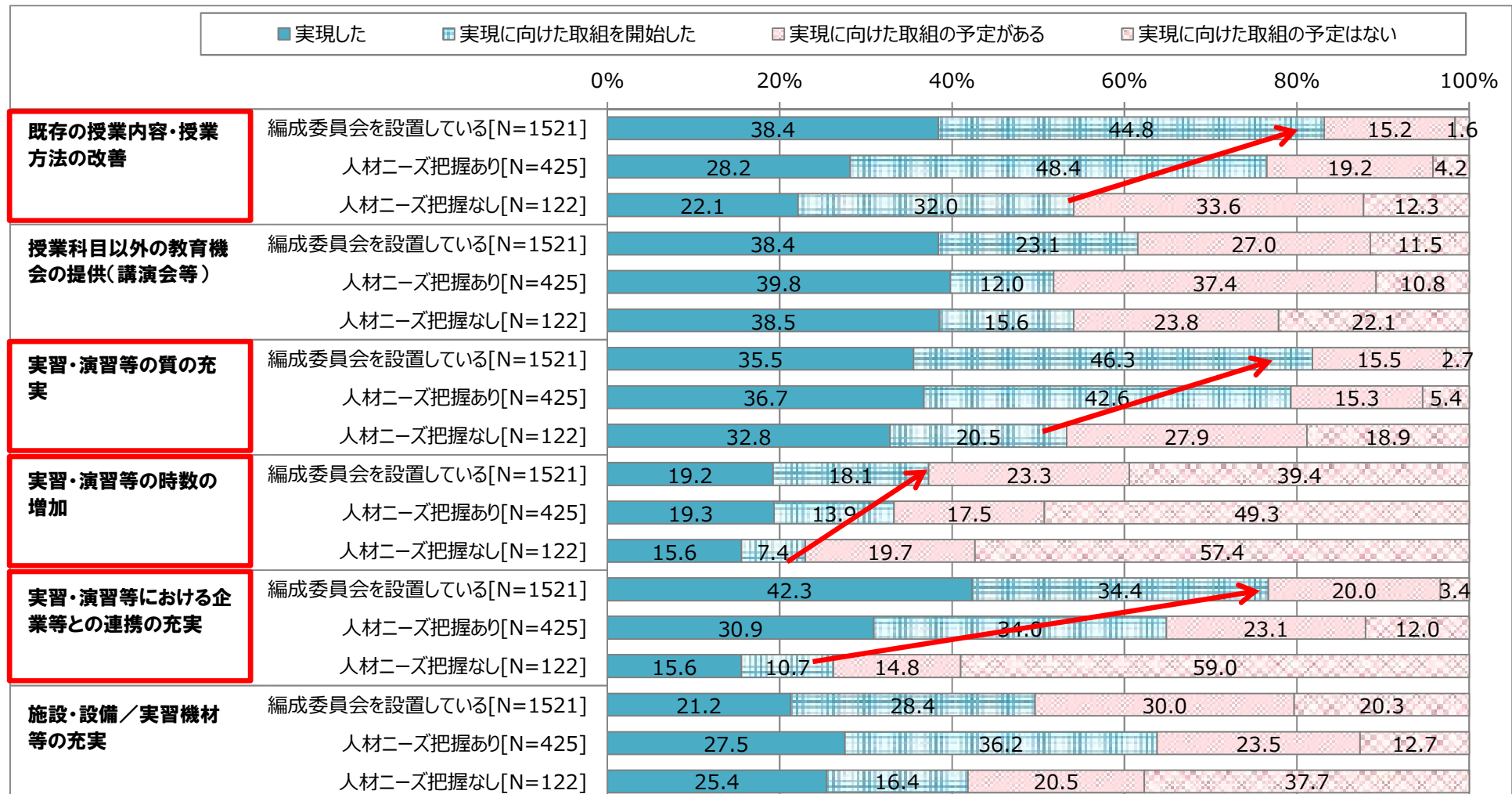
● 人材ニーズ把握なし
⇒「①～④の連携を行っていない」

※次頁、次々頁も同様

3 教育課程編成委員会 ②効果 (2)

■「実現した」または「実現に向けた取組を開始した」に着目すると、認定要件を満たす委員会を設置している学科ほど、おおむね回答割合が高い傾向（ただし項目により状況は異なる）

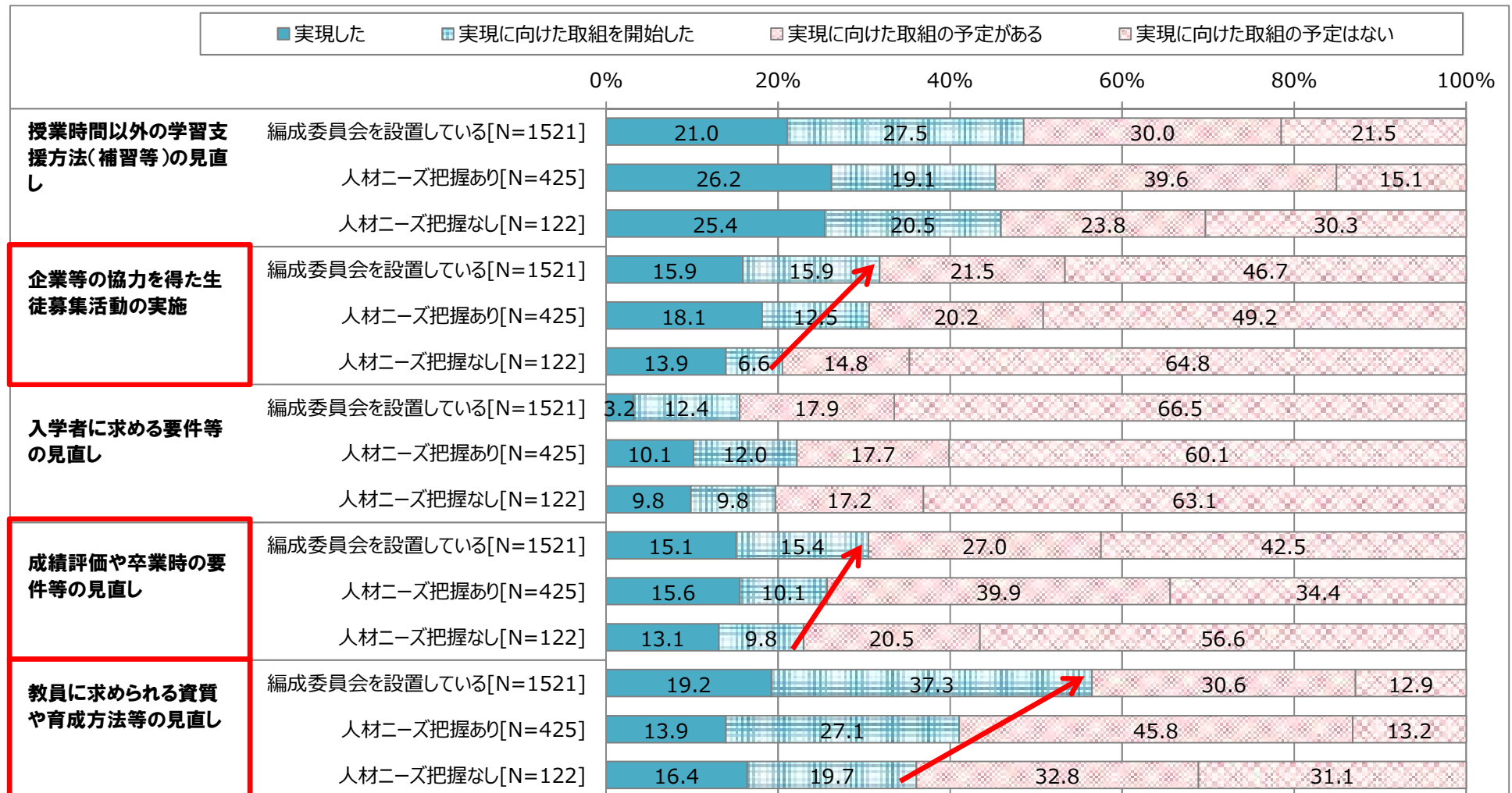
図表 平成26年4月以降の取組状況（教育課程編成における企業等との連携体制別）②



3 教育課程編成委員会 ②効果 (3)

■「実現に向けた取組を開始した」に着目すると、認定要件を満たす委員会を設置している学科ほど、おおむね回答割合が高い傾向（ただし項目により状況は異なる）

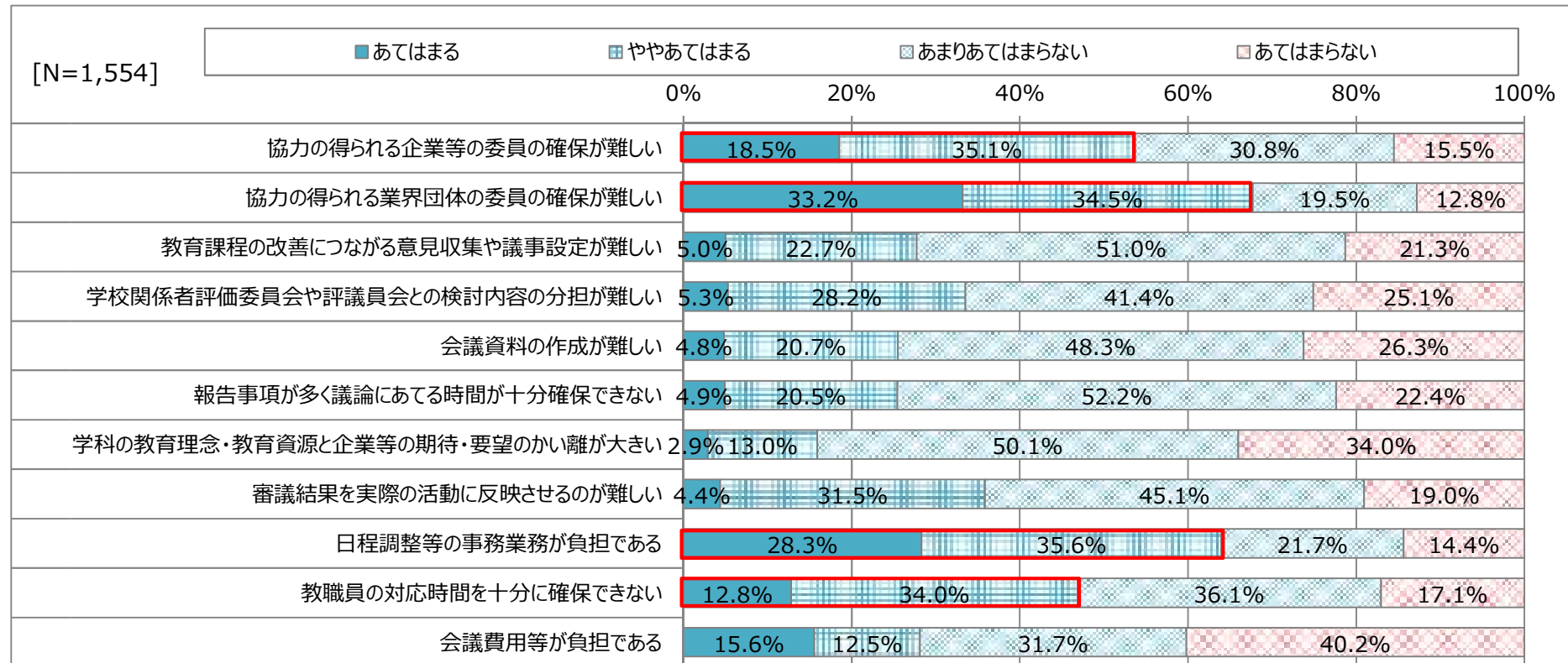
図表 平成26年4月以降の取組状況（教育課程編成における企業等との連携体制別） ③



3 教育課程編成委員会 ③課題・負担

■設置・運営上の課題は、「業界団体の委員確保」「日程調整等の事務負担」「企業等の委員確保」「教職員の対応時間確保」の順

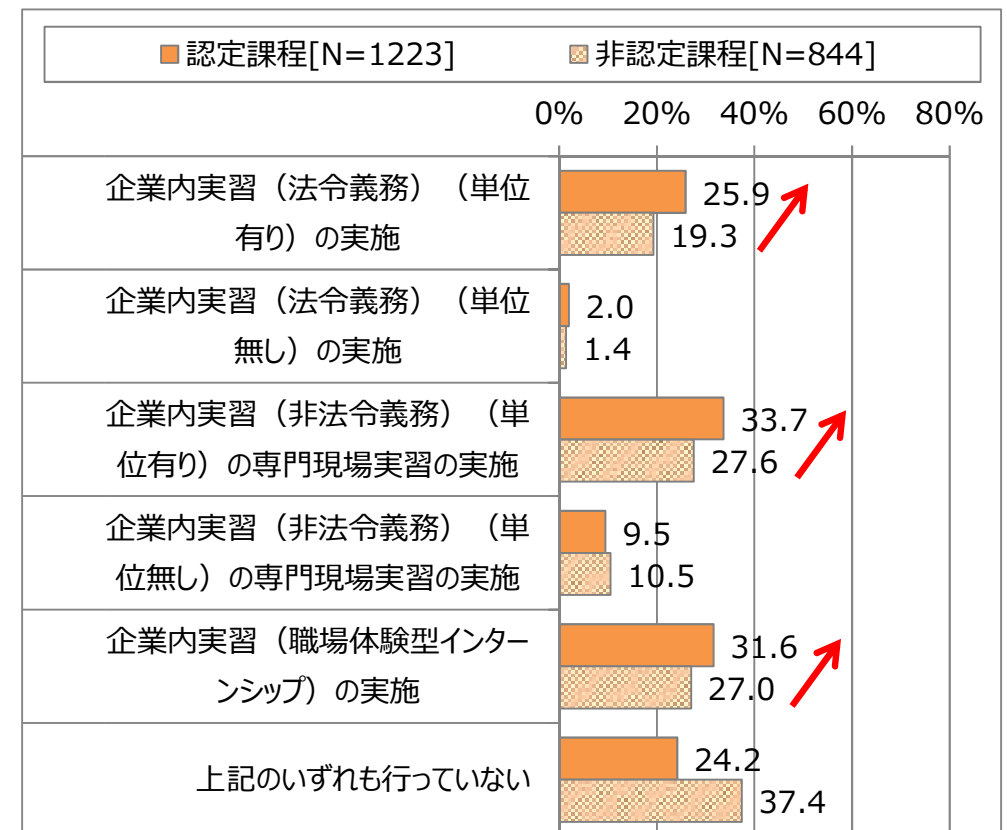
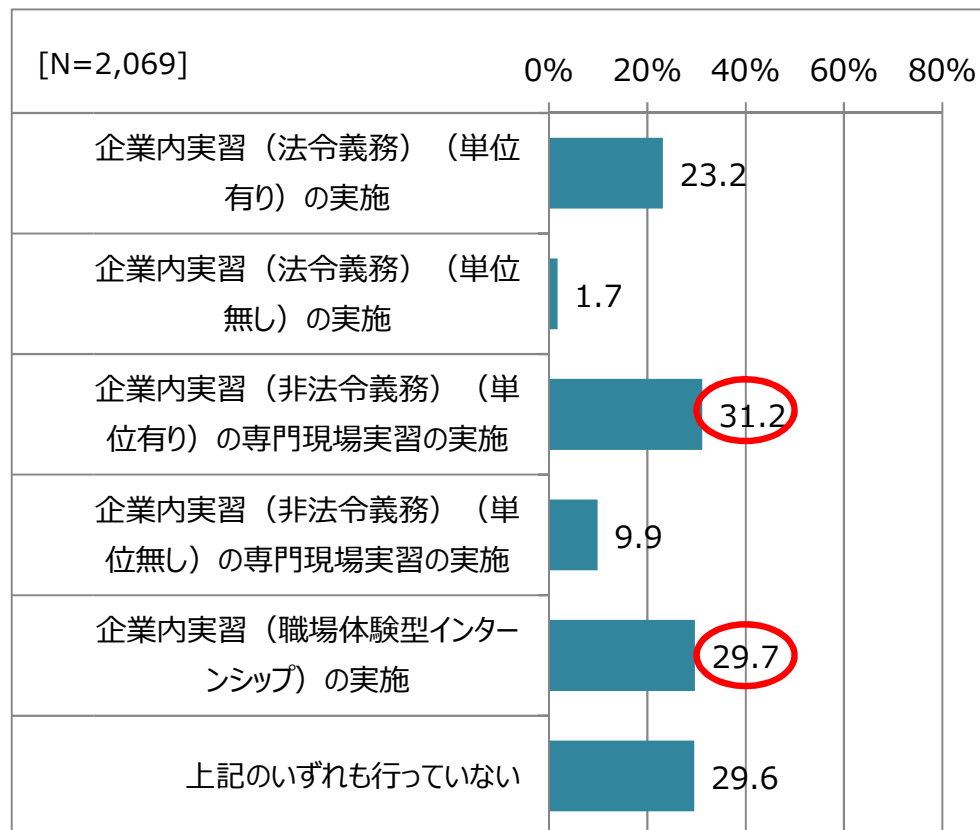
図表 企業と連携した委員会等（認定要件を満たさないものを含む）の設置・運営上の課題・負担



4 実習・演習等 ①実施状況（企業内実習）

- 企業内実習は、「専門現場実習（非法令義務：単位有）」「職場体験型インターンシップ」の順
- 認定有無別にみると、「専門現場実習（非法令義務：単位無し）」以外で、認定課程のほうが実施率が高い

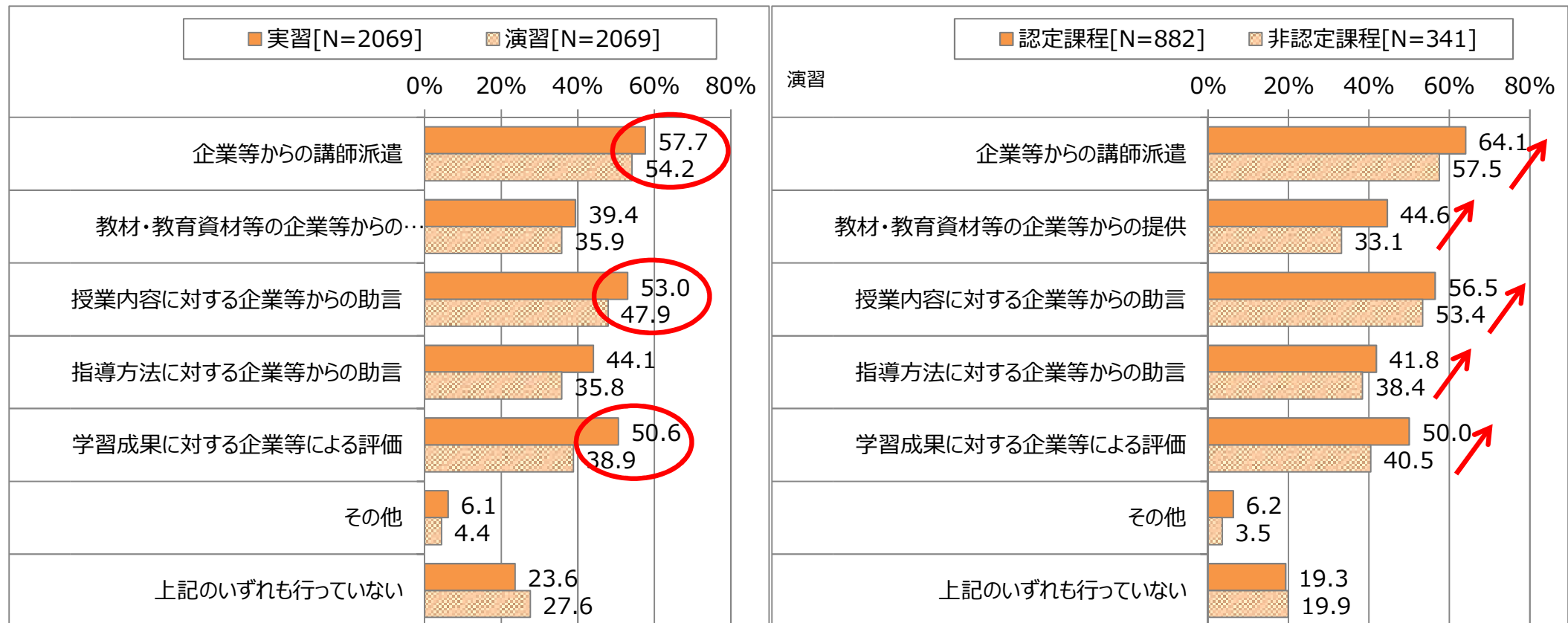
図表 企業内実習の実施状況（左：単純集計、右：認定有無別）



4 実習・演習等 ①実施状況（企業等と連携した学内実習・演習）

- 学内実習での企業等との連携は、「講師派遣」「授業内容に対する助言」「学習成果の評価」の順
- 認定有無別にみると（演習）、全般的に認定課程のほうが連携の実施率が高い（実習については、あまり差が見られず）

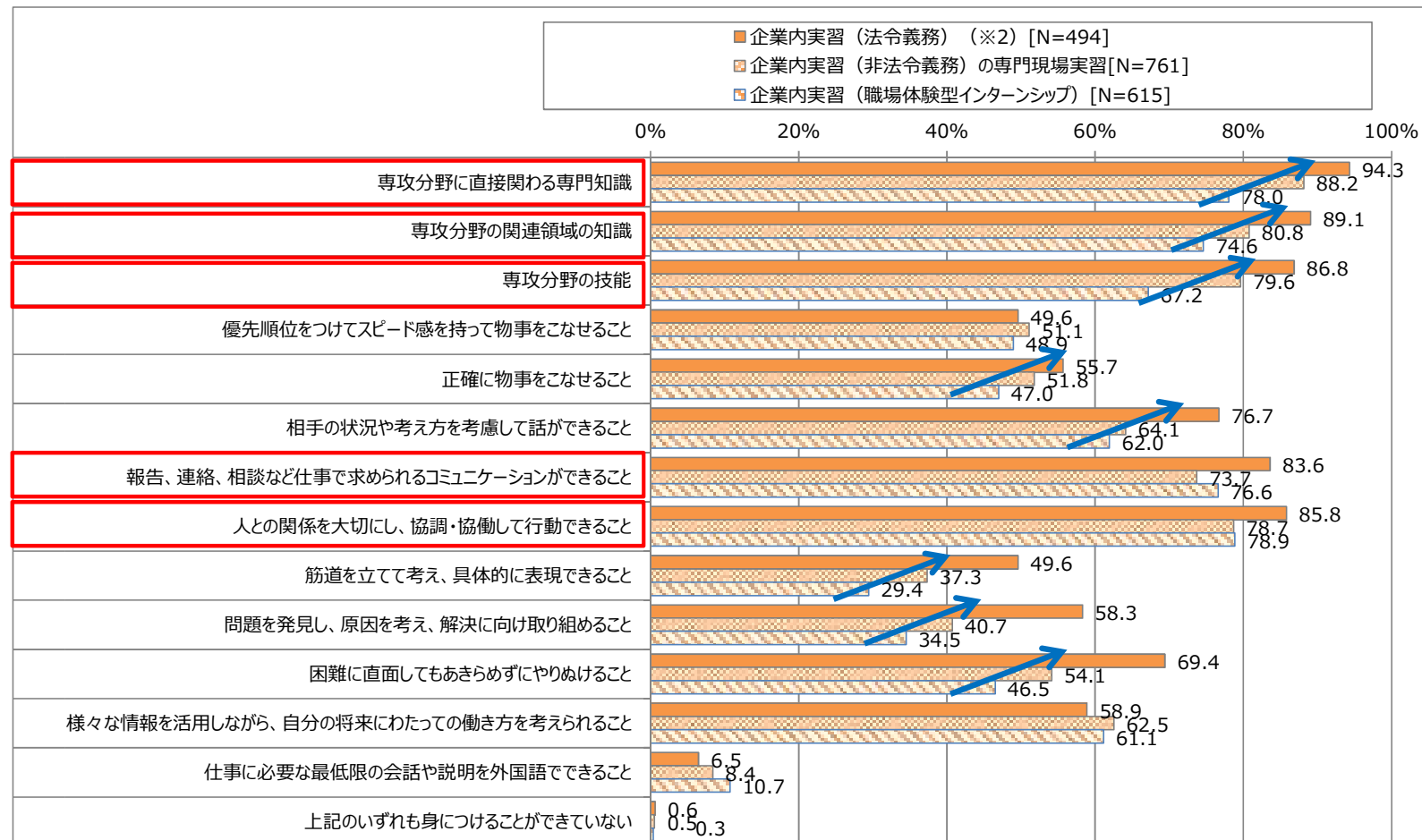
図表 学内での実習における企業等との連携状況（左：単純集計、右：認定有無別（演習のみ））



4 実習・演習等 ②効果（企業内実習）

- 全般的な傾向として、「専攻分野に関わる知識・技能」「専攻分野の関連領域の知識」「協調・協働した行動」「コミュニケーション」の回答割合が高い
- 同様に、「法令義務」「非法令義務の専門現場実習」「体験型インターンシップ」の順で効果が認識されている傾向

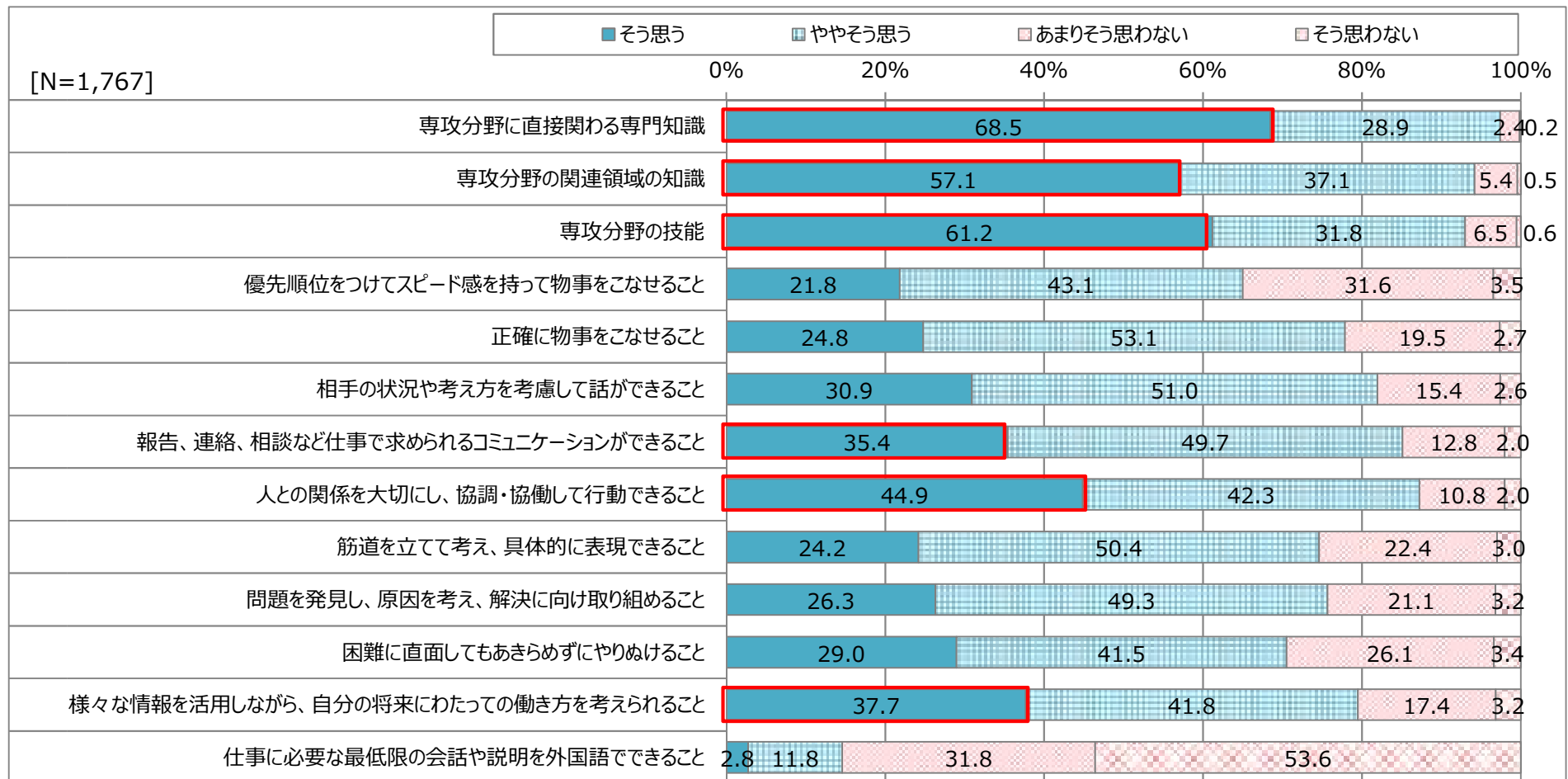
図表 企業内実習により、以前に比べ生徒が身につけられたこと（企業内実習種別）



4 実習・演習等 ②効果（企業等と連携した学内実習・演習）

■全般的な傾向として、企業内実習と同様の「専攻分野に関わる知識・技能」「専攻分野の関連領域の知識」「協調・協働した行動」「コミュニケーション」や「働き方を考えられること」の回答割合が高い

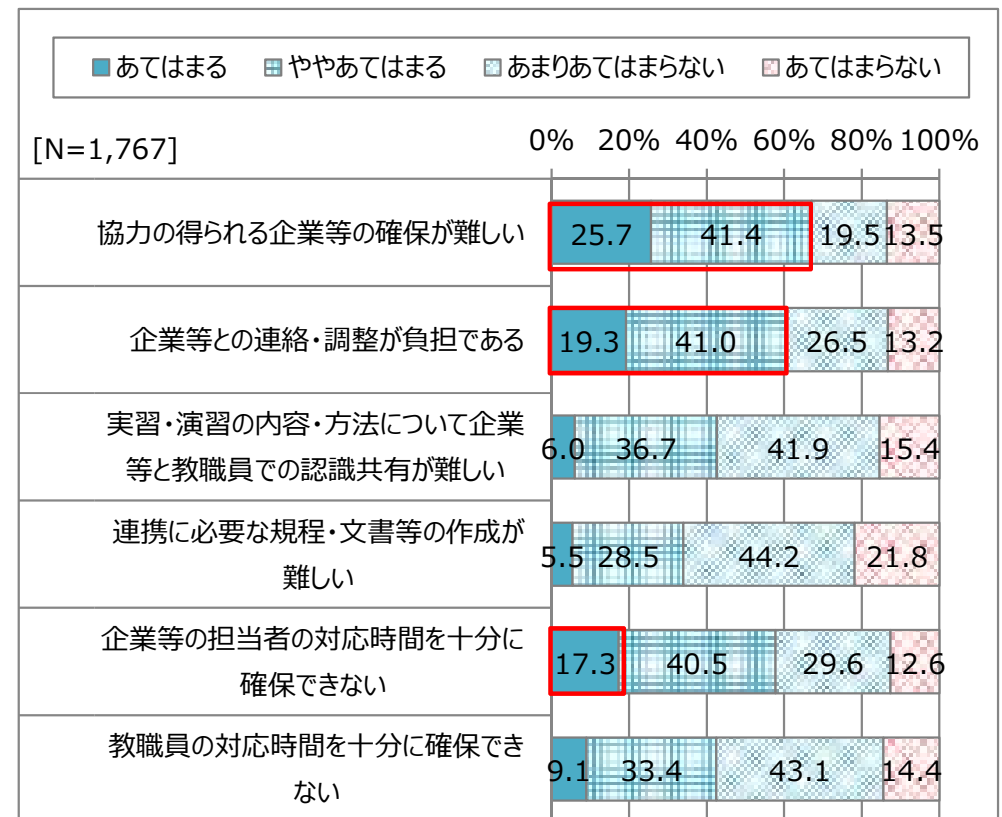
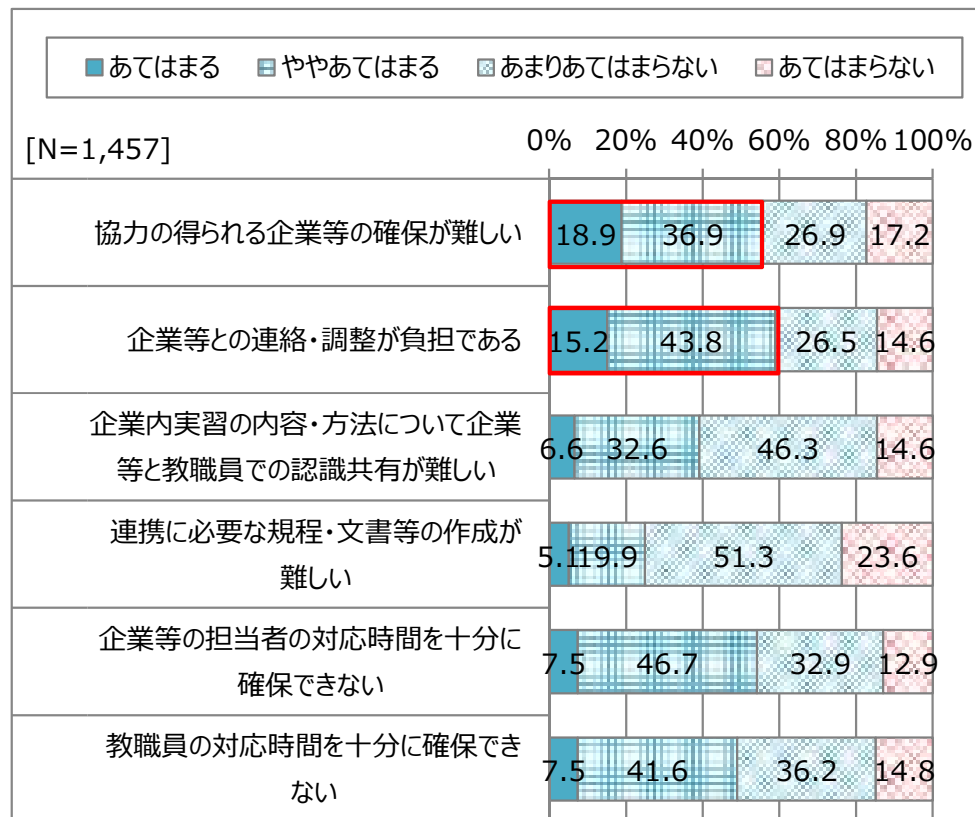
図表 企業等と連携した学内実習・演習により、以前に比べ生徒が身につけられたこと



4 実習・演習等 ③課題・負担

- 「あてはまる」に着目すると、「企業等の協力確保」「企業等との連絡調整」が上位
- 企業等と連携した学内実習・演習では、企業内実習に比べ、「企業等担当者の時間確保」を「あてはまる」に挙げた割合が高い

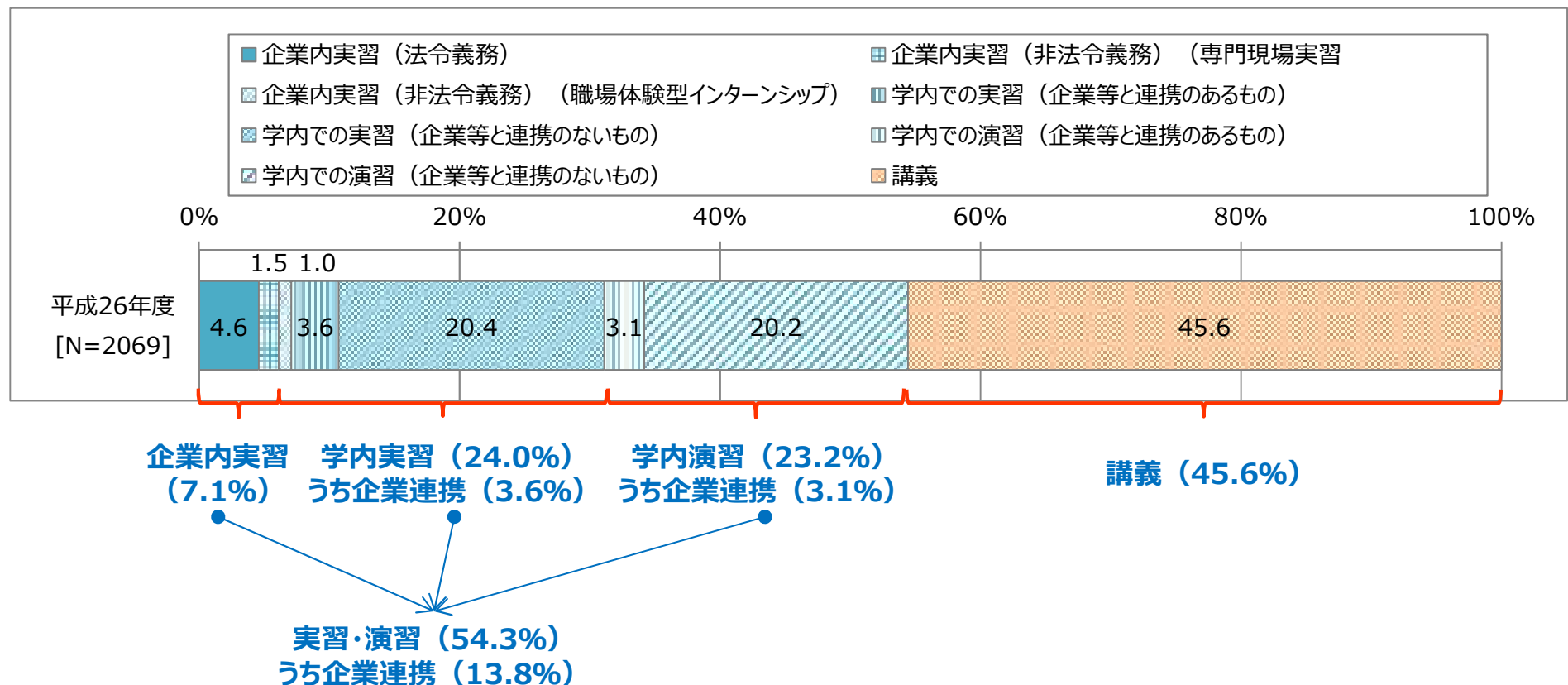
図表 実習・演習等における企業等との連携上の課題・負担（左：企業内実習、右：企業等と連携した学内実習・演習）



4 実習・演習等 ④授業時数（1）

- 授業時数の構成は、全体の半分弱（45.7%）が講義。企業内実習は1割弱（7.1%）
- 企業と連携した実習・演習（企業内実習、及び企業と連携した学内実習・演習等）は、全体の1割強（13.8%）

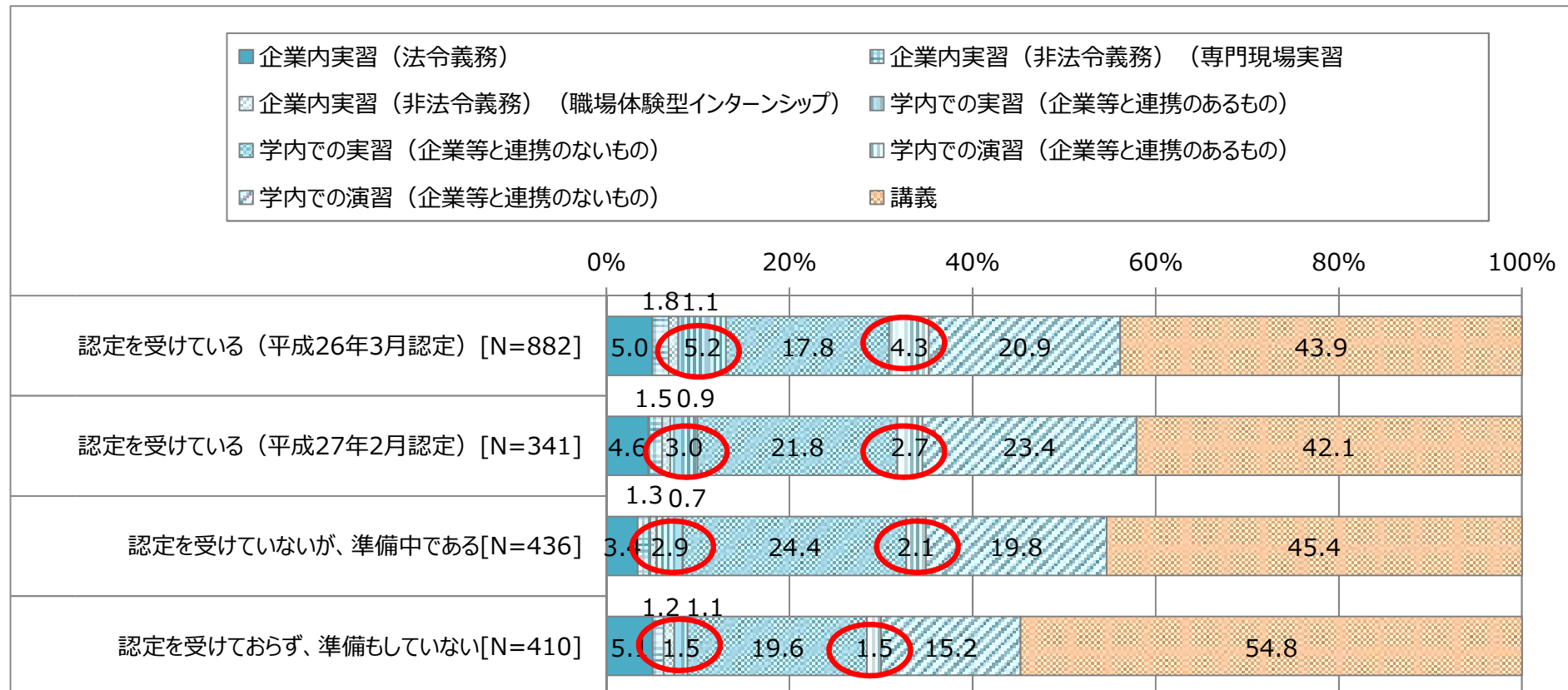
図表 授業時数の構成（平成26年度）



4 実習・演習等 ④授業時数（2）

■認定有無・時期別に授業時数の構成をみると、認定を受けている学科ほど、かつ認定から時間が経過している学科ほど、実習、演習それぞれについて、企業と連携しているものの割合が高い

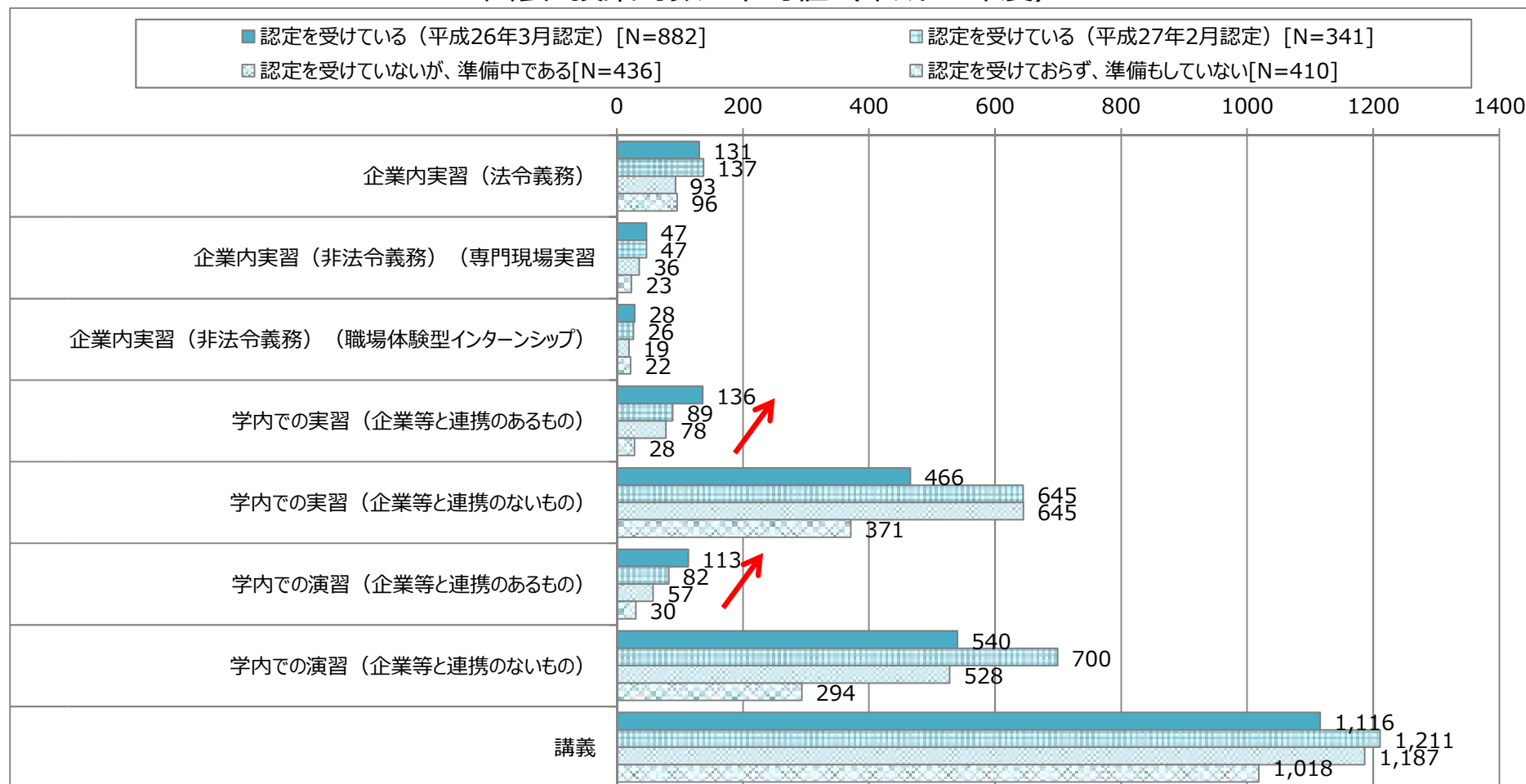
図表 授業時数の構成（平成26年度）



4 実習・演習等 ④授業時数 (3)

■認定有無・時期別に、授業種別の授業時数の平均値をみると、認定を受けている学科ほど、かつ認定から時間が経過している学科ほど、実習、演習それぞれについて、企業と連携しているものの値が高い

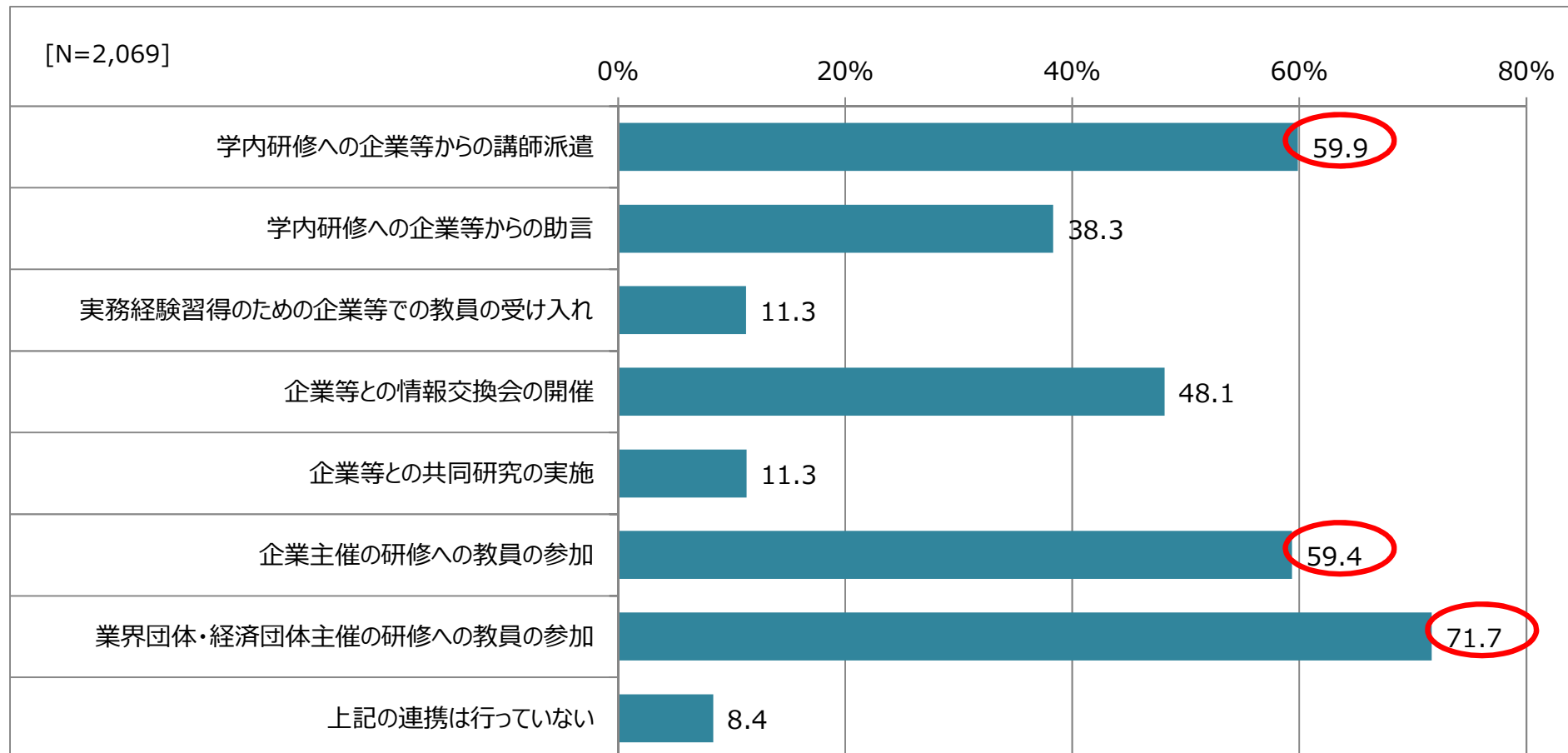
図表 授業時数の平均値 (平成26年度)



5 教員研修 ①企業等との連携状況（1）

■教員研修における企業等との連携状況は、「業界団体・経済団体主催の研修への教員参加」「学内研修への企業等からの講師派遣」「企業主催の研修への教員参加」が上位

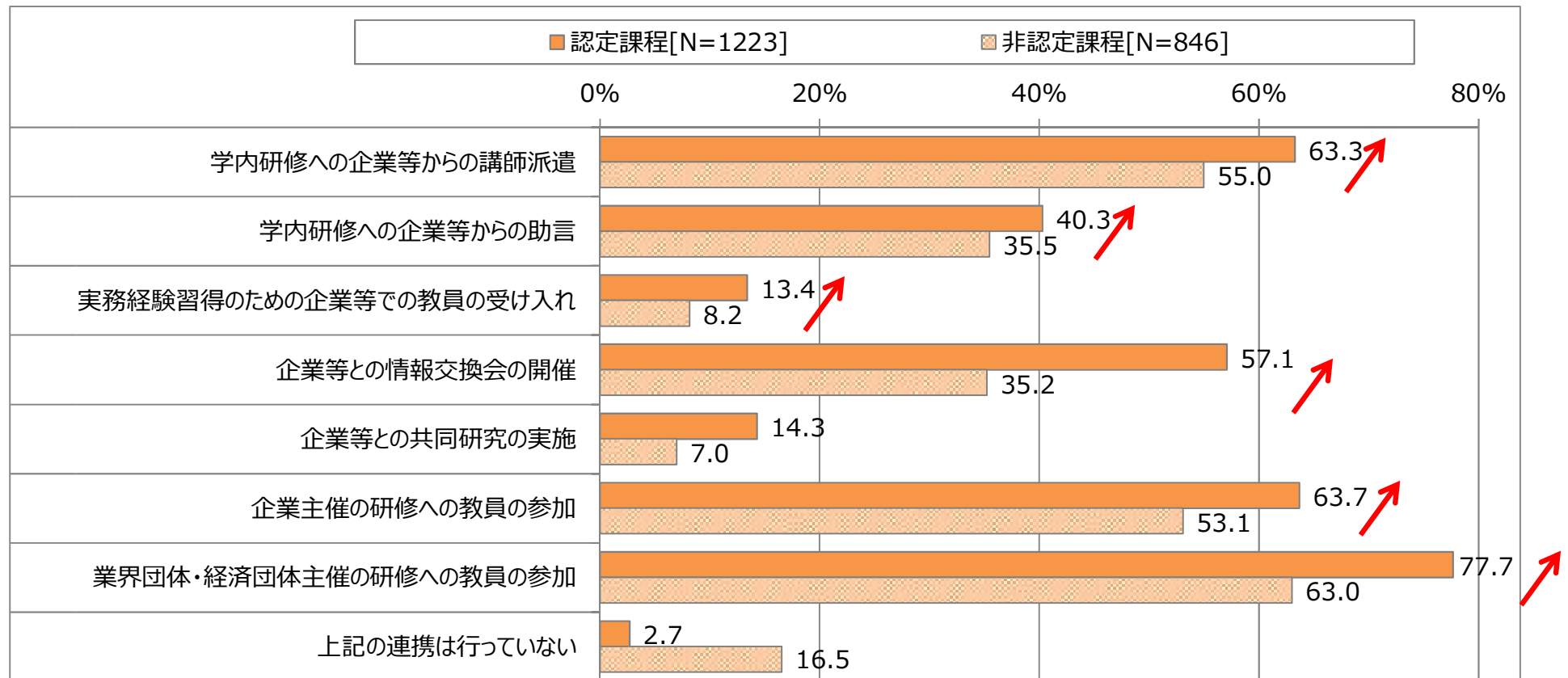
図表 教員研修における企業等との連携状況



5 教員研修 ①企業等との連携状況（2）

■認定有無別に連携状況をみると、認定課程のほうが、非認定課程に比べて、すべての項目で連携している回答割合が高い

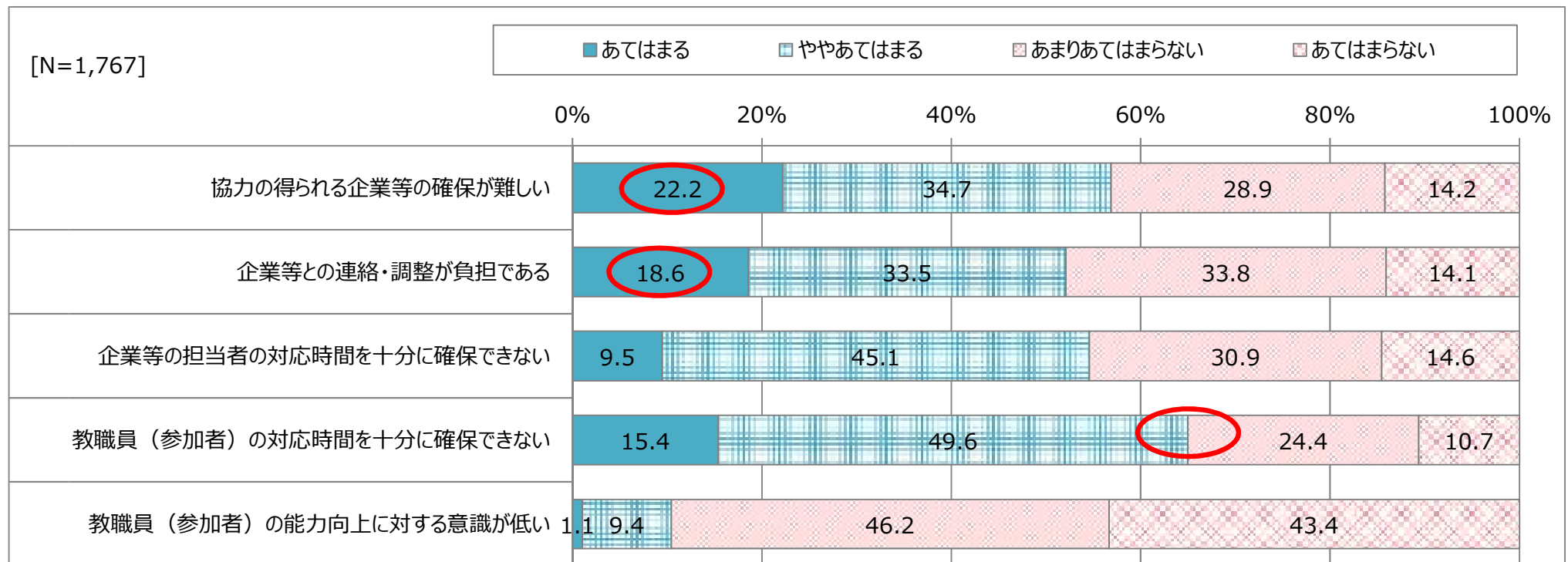
図表 教員研修における企業等との連携状況（認定有無別）



5 教員研修 ②課題・負担

- 「あてはまる」に着目すると、「企業等の協力確保」「企業等との連絡調整」が上位
- 「ややあてはまる」まで含めると、「教職員（参加者）の時間確保」が上位

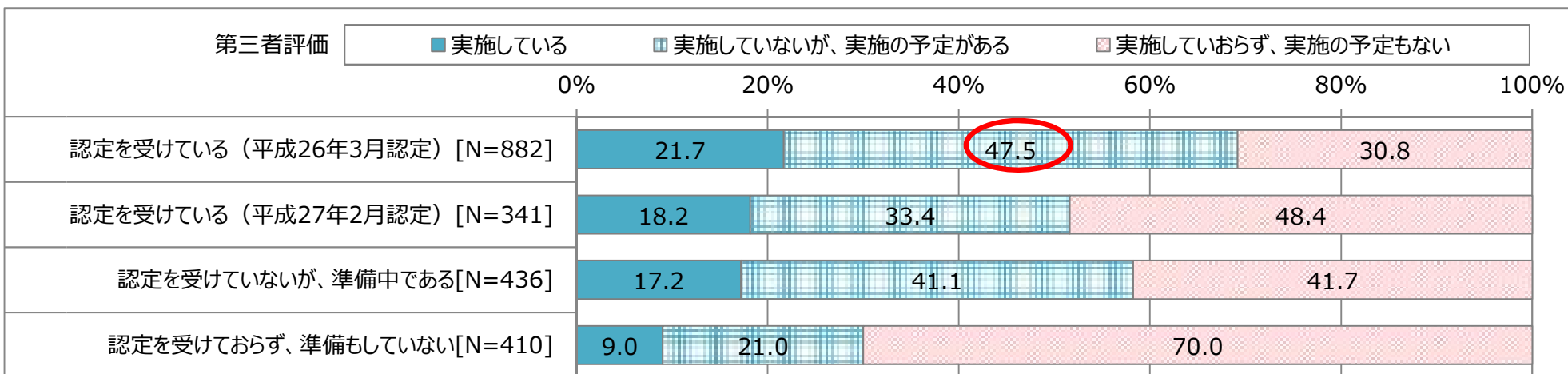
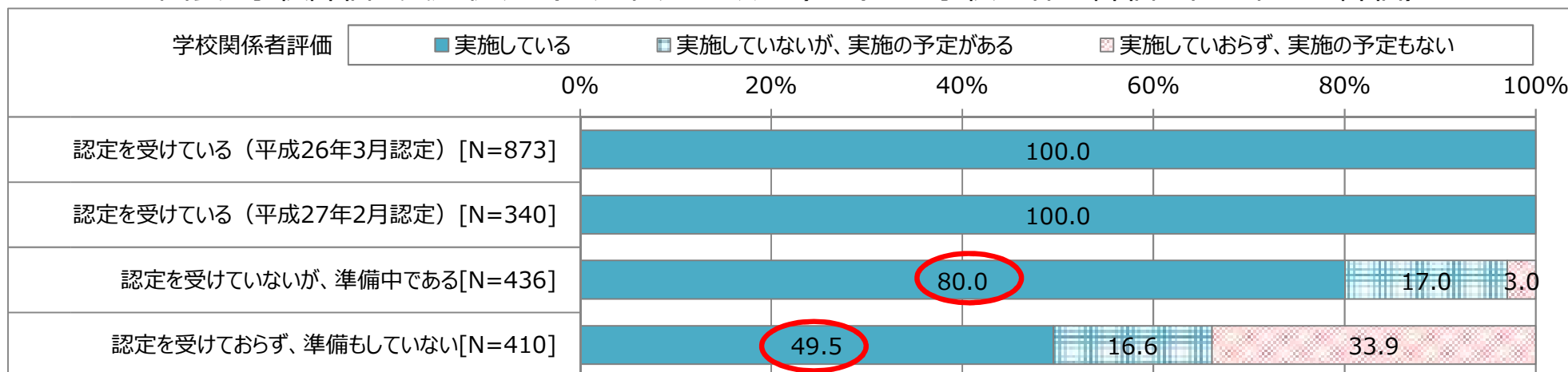
図表 企業等と連携した教員研修の実施上の課題・負担



6 学校評価 ①実施状況

- 学校関係者評価では、準備中の学科で8割、準備もしていない学科で約5割が実施
- 第三者評価では、H26年度認定学科は、「実施の予定がある」割合が高い（47.5%）

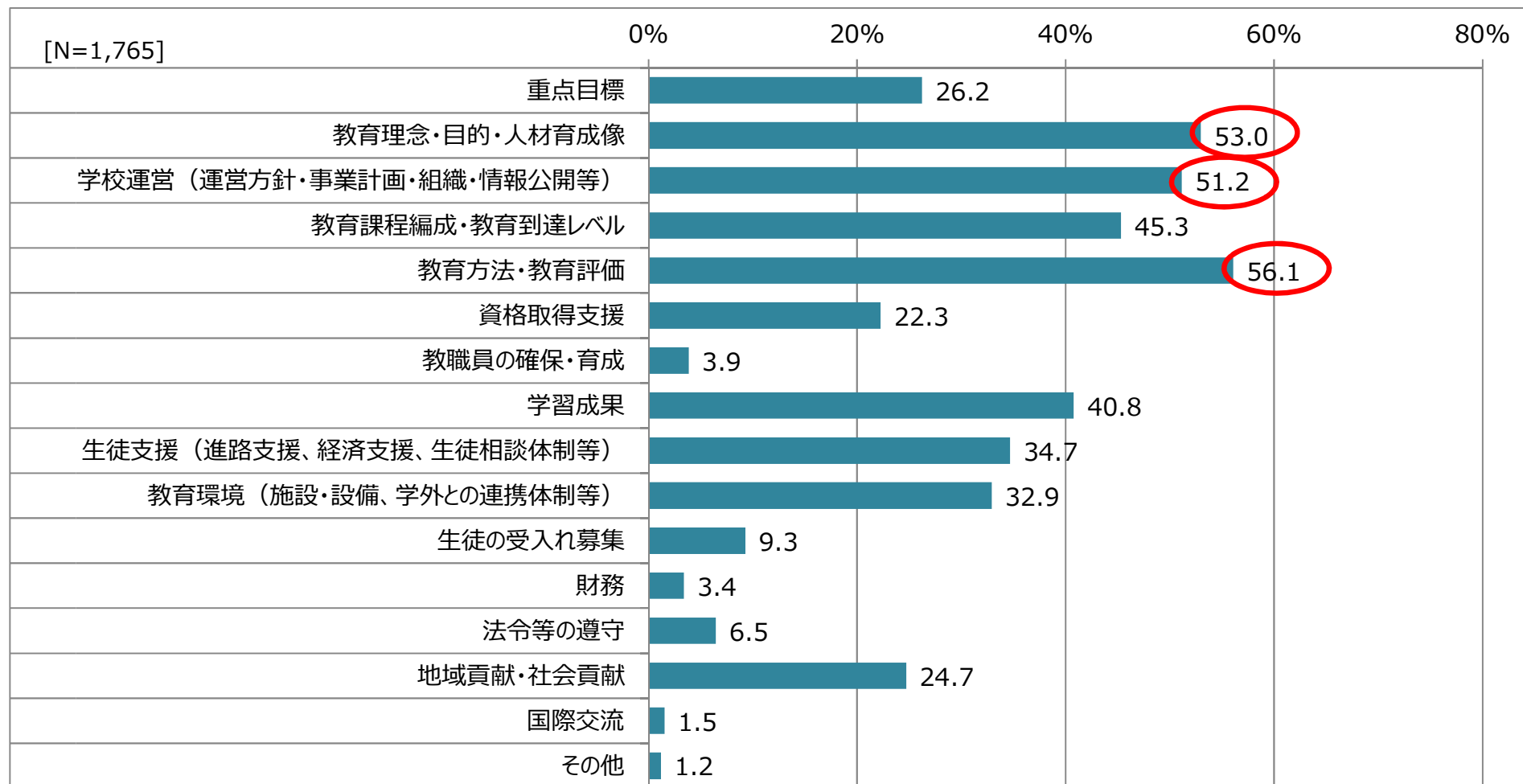
図表 学校評価の実施状況（認定有無・時期別）（上：学校関係者評価、下：第三者評価）



6 学校評価 ②学校関係者評価委員会での議論内容

■学校関係者評価委員会で審議にあてた時間が多いものは、「教育方法・教育評価」「教育理念・目的・人材育成像」「学校運営」が上位

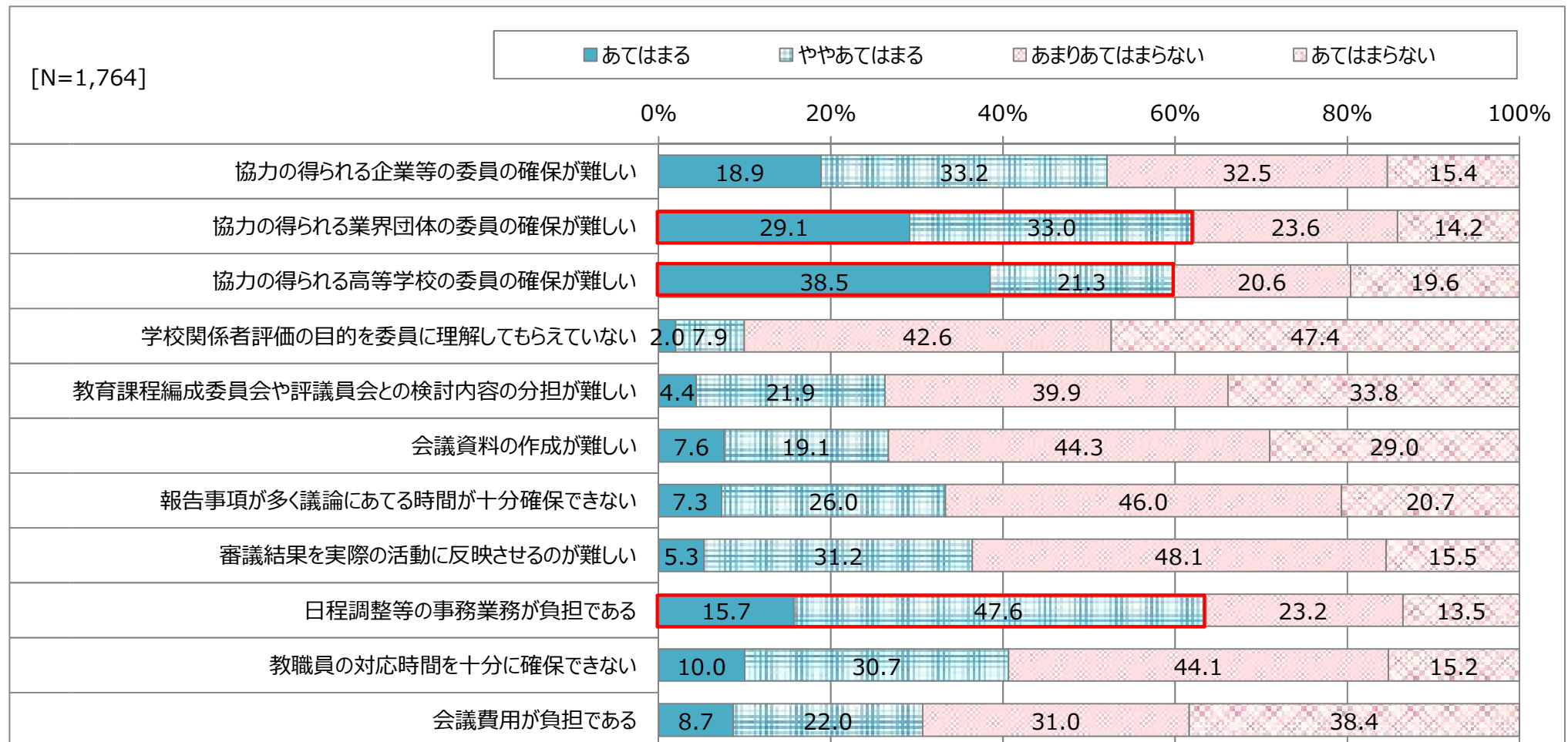
図表 学校関係者評価委員会での実際の審議項目（多い順に5つまで）



6 学校評価 ③課題・負担

■設置・運営上の課題は、「日程調整等の事務負担」「業界団体の委員確保」「高等学校の委員確保」の順

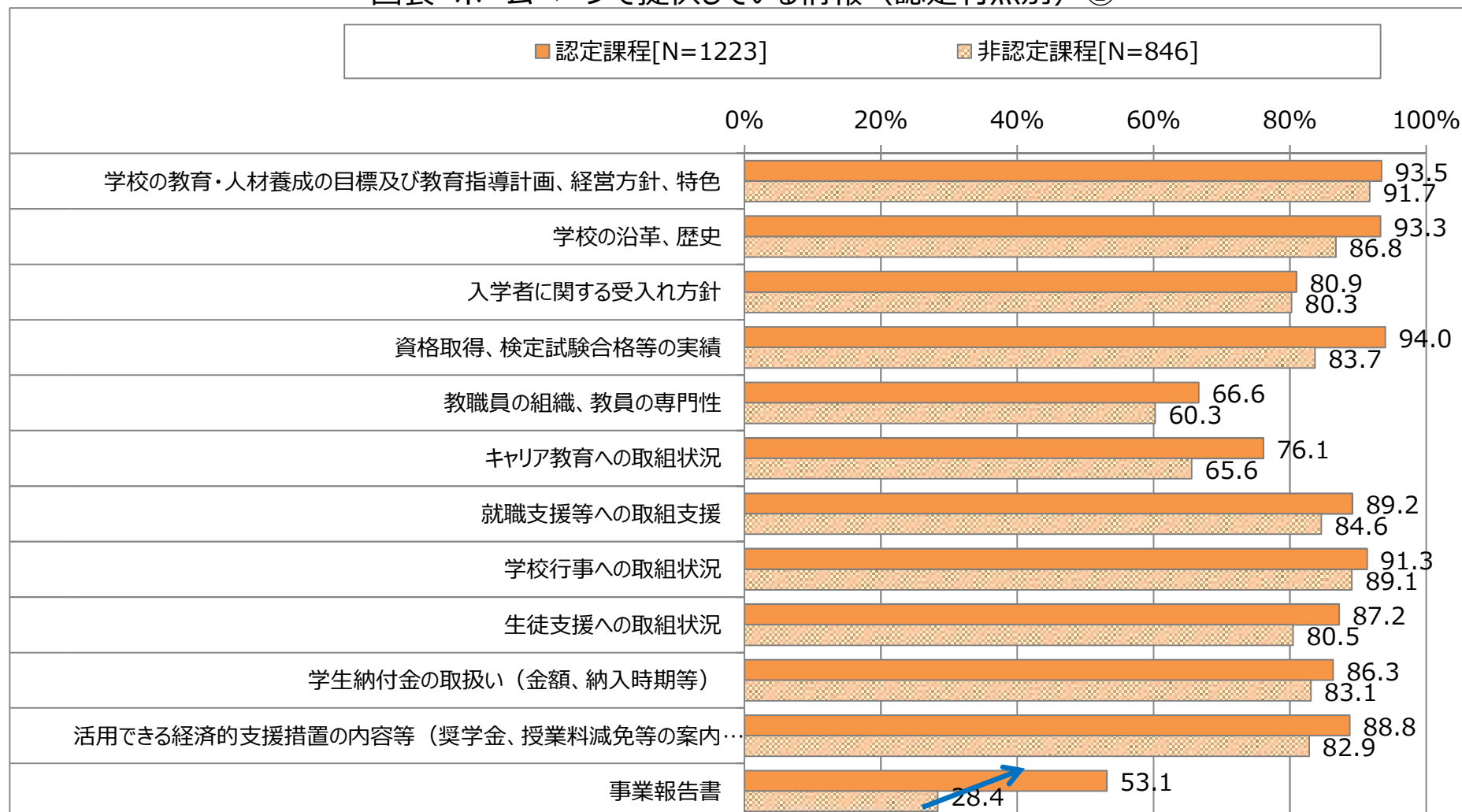
図表 学校関係者評価委員会の設置・運営上の課題・負担



6 情報提供 ①提供情報（1）

- 全般的に認定課程の提供割合が若干高い
- 以下の項目の中では、「事業報告書」の情報提供で、認定有無による差が大きい

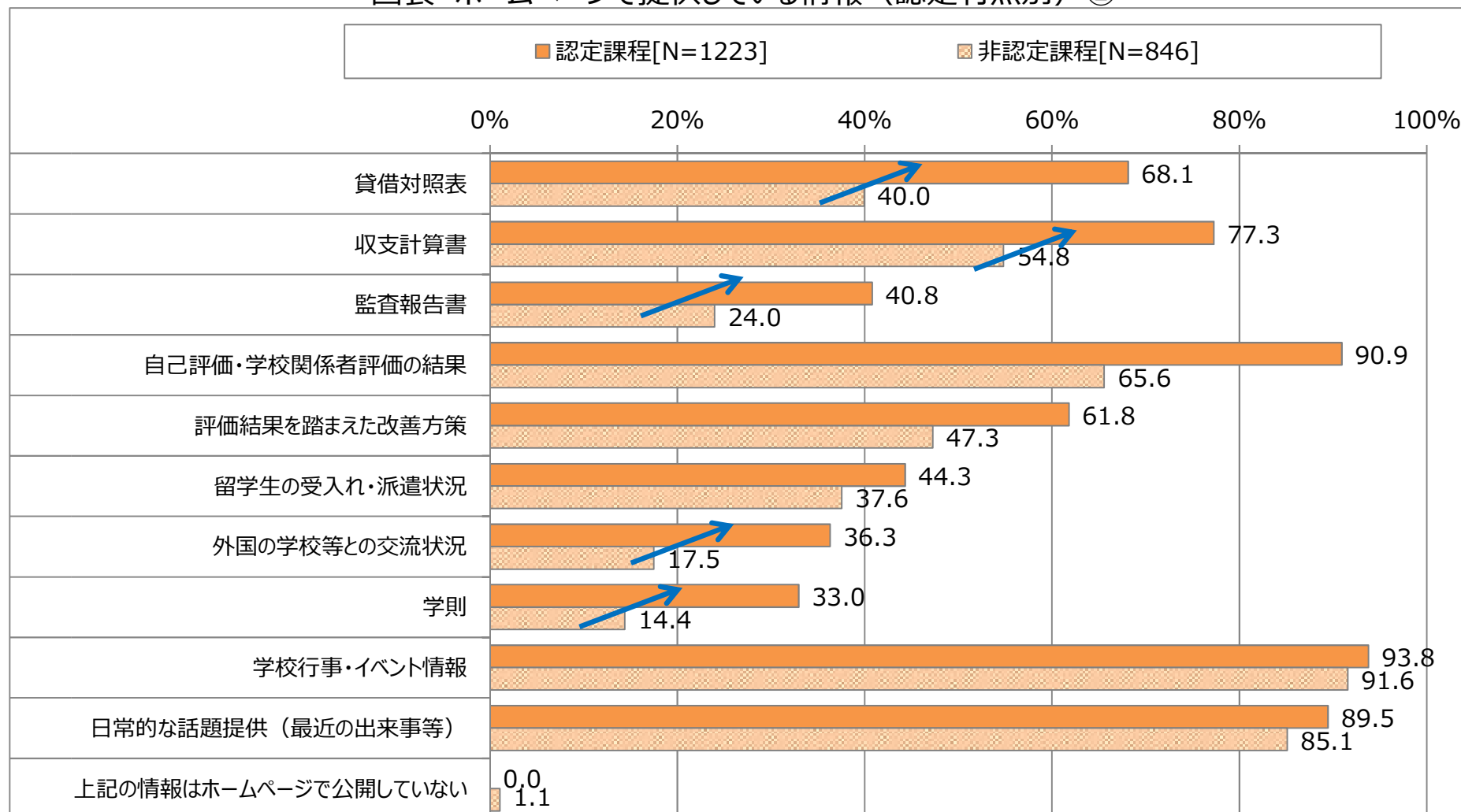
図表 ホームページで提供している情報（認定有無別）①



6 情報提供 ①提供情報 (2)

- 全般的に認定課程の提供割合が高い
- 「財務・監査状況」「外国の学校等との交流状況」「学則」などで、認定有無による差が大きい

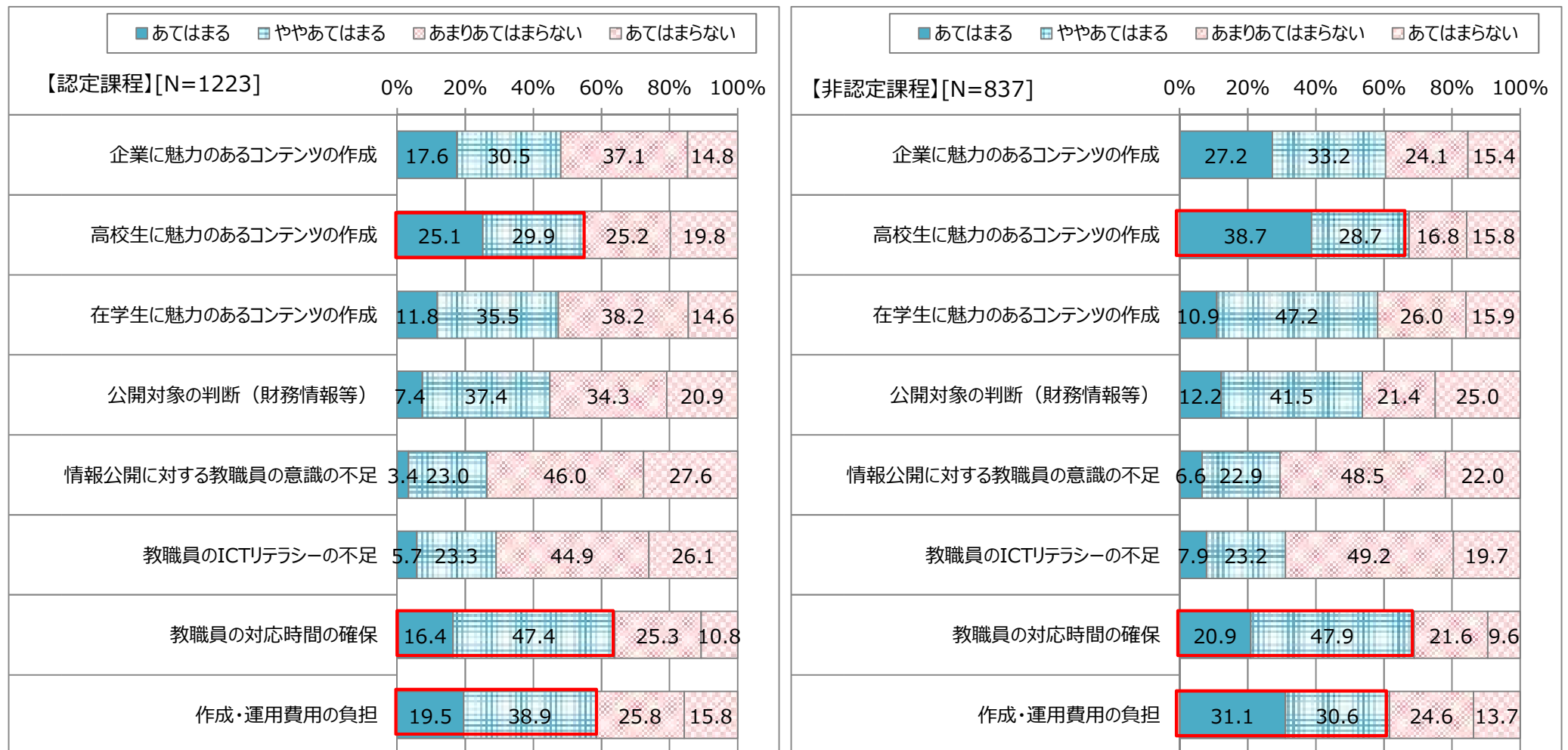
図表 ホームページで提供している情報（認定有無別）②



6 情報提供 ②課題・負担

■認定有無に係らず「教職員の対応時間確保」「高校生に魅力あるコンテンツ作成」「作成・運用費用の負担」が上位だが、全体的に認定を受けていない学科において、やや高い課題意識

図表 ホームページでの情報提供上の課題・負担（認定有無別）（左：認定課程、右：非認定課程）





株式会社三菱総合研究所